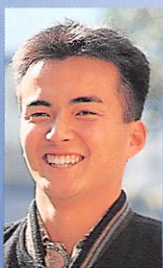
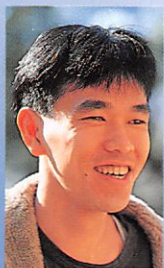


ZOOM UP

長崎大学歯学部
NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY 1872



1991. No.73



歯界展望

「現在全国に歯科大学或いは歯学部併設の立大学は17校あります。私は愛知学院大学の関係から全国の私立大学協会、また私立短期大学協会の常務理事も同時に兼ねておりますが、前者は約200校、後者は約600校近くあります。しかし、附属病院をもつ歯科大学の予算は、一般大学の約10倍近くになり、その意味では数から云えばたとえ17校でも、大きな力を持つ協会といえます。しかも、歯科医



全国私立歯科大学協会会長
愛知学院大学学長

小出忠孝

学の教育において、歯科医師養成の約70%は私立の大学に依存しておりますので、将来の本国の歯科医師の良否は私立の大学が背負っていると言ってもいい程、その責任は重大だと考えております。4~5年前、文部省に歯学教育改善会議という会が出来、21世紀の歯学教育はどうあるべきか、を検討したのですが、その時議論したことは、歯科はもはや単なる口腔内の疾患と考えるだけではなく、全身の中の一疾患と考える必要がある。歯は人が生きるために大切な健康の維持はむろんのこと、話すというコミュニケーションの伝達、さらには美しく見せる審美性や健全な咀嚼による老化防止等、その役割は計り知れません。その対応をいかにするかが今後一層重要となってくる、と云うことでした。また先日、私立歯科大学、私立医科大学、私立薬科大学の三つの協会による合同会議を開いたのですが、今後はこの三協会が一体となって、国に働きかけて行こうということになりました。こうした会がお互いに手を結び、発展していく

ことが重要であり、また有効な社会を迎えているからです。理路整然、しかもキチッと歯切れ良い言葉でお話し下さる。さすがは各界のリーダーとして絶大な信頼を得ている方である。——また歯科医師過剰問題についても「本学が歯学部を増設した時、歯大は全国に7校だけでしたが、その後アツという間に29校に増加。さらに学生定員も各校とも5割増を実施、という状態でした。これは当時WHOの適正歯科医師数が人口10万人に対し50人、ということから、日本はまだ少ない、もっともっと歯科医師を、というわけで…。現在都市では80人台に入り、このま、いけば、2020年には120人台に増えてしまう。これでは大変と最近新生生の20%削減ということになりました。しかし、決して暗い将来というわけではありません。現在各大学の新生入学生を分析してみますと、本学の入学者の内、女性が今年で25%、来年は30%以上、大学によっては50%近くに増えているとのこと。また、現在親が歯科医師である新生入生が、以前に比べ格段に多くなりました。こうした現象は——女性歯科医は、同じ歯科医と結婚する例が多いことから、今後は新規開業医が激減していくことと予想

されます。また、各家庭の子供数が1~2人とずっと少なくなった為、後継者がなくやむなく閉院するケースも出てくるのではないかと。加えて21世紀の高齢化社会を迎え、歯科医を必要とする人口は次第に多くなってまいります。ひょっとすると、歯科医が足りない、という時代が、再び来るかも知れません。」と数字を上げながらのお話は説得力があるし、同時に暗い話が多い中、我々に明るい展望を抱かせるうれしい内容である。またこうも云われる。「確かに以前に比べれば、歯科医の収入を含めた現状は悪くなっているとは思いますが、いま歯科医師にアンケートを取りますと、ほとんどの歯科医は子供をまた歯科医にさせたい、と望んでおります。こうしたことから、もちろんその職業に使命感をもたれている人も多いでしょうが、実体はそんなに悪くない職業である、と思っている方が多いのではないのでしょうか。これは私の勝手な解釈かも知れませんが(笑)。大学という立場と歯科医師の現実をしっかり把握されている言葉に、頷かざるを得ない。

名古屋大学医学部をご卒業。ご専門は内科医である。——先生は歯科の患者さんの一人でもある訳ですが、歯科医と医師の違いはどんなところ、と思われませんか？ の質問に「え、私も近頃歯が悪くなり、時々診ても

らっているのですが、歯科医の仕事は、ほんのちょっとした狂いも患者に不快感を与えるという細かい仕事の連続。大変な職業だと感じますね。内科も、もちろん大変ですが、それよりも…。歯科の場合上手くいったり前の微妙なテクニックを必要としますから」また「医科は病院勤務医においても、循環器系、消化器系、代謝系その他色々ありますが、歯科は特例を除き、ほとんど一般歯科しかありません。そうした意味で、勤務医となるべき病院も少なく、またその数も多くなく、まだ研修が必要とする人もやむなく開業という形をとってしまいます。今度、愛知県に老人の健康問題を研究する、国立の『長寿科学センター』が出来るのですが、そのスタート準備の頃、歯科が入ってないんですよ。行政側に話をして歯科を加えてもらったんですが…。老化問題という医学中心というのが今迄の常識で、歯科は忘れられがちです。今後も機会あるごとにPRを、と思っているんです。」

先述の肩書きの他に、東海大学サッカー連盟の会長、バレーボール連盟の会長、今年はロータリークラブの会長も決定されている。特にロータリークラブについては「私はこのクラブへの入会を歯科医に勧めているんですよ。患者さんの治療の他に、こうした社会奉仕活動にも加わり、歯科医師が自ら積極的に社会的レベルを上げていく行動を示すことが大切だと考えるからです。学問もスポーツも、また社会活動へも。59才の頼れる強い味方である。

今号からこの展望は歯科医療関係者に限らず、広い視野から「歯科医療界をいかに思われるか」という視点でお伝えします。時には耳の痛い意見もございましてですが、ご参考になれば幸いです。

● 略歴

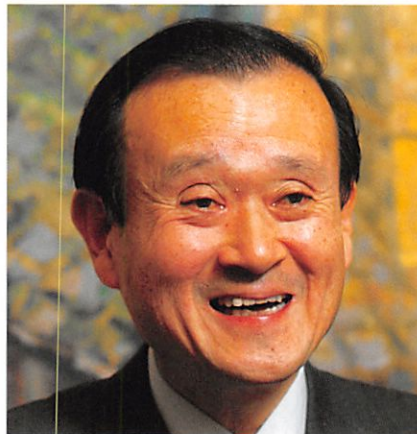
- 昭和6年1月 愛知県名古屋市に生まれる
- 昭和30年3月 名古屋大学医学部医学科卒業
- 昭和31年4月 名古屋大学医学部第三内科入局
- 昭和38年1月 医学博士(名古屋大学)
- 昭和43年10月 愛知学院大学教授(歯学部内科学)
- 昭和52年10月 日本私立歯科大学協会理事
- 昭和55年6月 愛知学院大学副学長就任
- 昭和59年4月 日本私立歯科大学協会副会長
日本私立短期大学協会理事
- 昭和59年12月 文部省歯学教育改善会議委員
- 昭和63年1月 愛知学院長、愛知学院大学学長就任 現在に至る
- 昭和63年3月 日本私立大学協会常務理事 現在に至る
- 昭和63年9月 文部省教育職員養成審議会委員 現在に至る
- 平成元年4月 日本私立歯科大学協会会長 現在に至る
歯科臨床研修振興財団理事長 現在に至る
- 平成2年5月 日本私立短期大学協会常務理事 現在に至る
- 平成2年7月 愛知県私学経営者協会副会長 現在に至る
- 平成2年9月 文部省学校法人運営調査委員 現在に至る
- 昭和58年4月 東海大学サッカー連盟会長 現在に至る
- 平成元年4月 東海大学バレーボール連盟会長 現在に至る

わが校を語る

長崎大学 歯学部

歯学部長

岡邊治男



■プロフィール

- ・1933 帯広市に生まれる
- ・1961 東京医科歯科大学医学部卒
- ・1966 東京医科歯科大学 医学研究科修了
(病理学専攻)
- ・1967 東北大学歯学部助教授(口腔病理)
- ・1981 長崎大学歯学部教授(口腔病理)
- ・1989 長崎大学歯学部長 現在に至る

長崎駅より車でおよそ15分。浦上天主堂、平和公園にほど近い高台に建つ長崎大学歯学部。ご存知のように長崎市は山や丘陵地が多いことから、大学も市街地にありながら、周囲を山々に囲まれている、と云った印象が強い。それだけに、学ぶ環境としては抜群だ。また、オランダ商館に任官したドイツ人シーボルトに代表されるように、日本の医学はここから発達した、と云われるだけあって、医学部のキャンパスも緑の中に広い敷地を有している。歯学部も、医学部の隣接地に建てられ、医・歯の交流も十分。学生や患者さんにとっても、都合の良い立地であろう。

地下1階地上8階建の内部は、1階から4階までを主として病院や会議室等に、5階から6階までが学生の講義室に使用されているようだ。長崎大学生徒数6,535人、内歯学部は教養を含めて449名。

お会いした岡邊歯学部長、病理学一筋に30年歩まれて来られた方だけに、饒舌さはないが、誠実なお話しぶりで気持ち良い。

「医学部はオランダから来られたポンペ先生によって1857年に建てられました。これは日本最古ですが、歯学部は最も新しく、やっと設立11年。61年に第一回卒業生を送り出したばかりです。また、医学は地球を東回りで日本に入りましたが、歯学は全く逆、1890年、ヨーロッパからアメリカ経由で入りましたから西回りの経路、同じ医療でも医・歯は、歩んだ道程まで違うんですね」。しかし今後は、医療の一分野としての歯科という見方も強くなるのでは。そうしたことについて「当大学は国立ですので、いま迄はなにかと規制が強く、特徴を出そうと思ってもなかなか難しかったのですが、平成5年からは受験学生数が減ることから、その規制もゆるやかになり、各大学独自の個性化を図れ、と云う動きがでてきました。責任も重いのですが、徐々に各大学の特色が出て来るものと思います」。その具体的対策は？「やはり、小児・矯正は例外として、日本が未踏の高齢化社会を迎えるわけですから、その対応ですね。国立大学は思いついたらすぐ実行、というわけには行きませんが、ゆくゆくは、専門の講座

高齢者の臨床教育など積極的に採り入れて行くつもりであります。また、その点隣りが医学部ですから、そちらとの連携もさらに密になって行くでしょうし、学生も高齢者、有病者の歯科も学ぶ姿勢が変わってゆくことと思います。現在も、それぞれの時間数は少ないのですが、外科、内科など隣接医学の非常勤講師として50名以上の方が歯学部で教えていただいております。

お生れ育ちは北海道。昭和36年東京医科歯科大学医学部を卒業。そのまゝ大学に残り博士課程を。昭和41年、東北大学に歯学部が新設されるにあたり口腔病理学助教授として赴任。昭和56年当校へ。平成元年10月より3代目歯学部長となる。

私は北海道帯広市に生まれて約20年後、東京で13年、仙台で14年、当地に来て10年と日本を縦断して参りました(笑)。当歯学部は日本の最西端に位置しますが、昔と違って交通網も発達していますから、北海道から来ている学生もおりますし、異和感は余り湧かないですね。ただ、地のりや山の関係からか、10月頃まで暑いのは最初は閉口しました。でもその分冬は暖かく…。住めばどこも都、というところですね(笑)。

ご専門の病理学については「基礎科目は、医科も歯科も似ていて、口腔病理も広い意味で医学の一部です。私の考えでは、学位をとるまで基礎で勉強し、その後基礎を武器に臨床を勉強、臨床医となる方法が良いではないかと思っていました。特に病理学は基礎の中でも臨床に一番関係がある学問なので、長い目で臨床医を考える時、最も良いのではないかと思っていたのですが、私自身はその後、歯学部につかまり、東北大に行ったので臨床を放棄することになりました(笑)…。「欲を言えばキリがありませんが、まだまだ病理学者として研究したい事を多く残している様な気がしますが、一方大学人として過ごして来た人生については、いろいろな大学で過ごせた点、幸せだったと思っております。」

現代学生気質については「個性化を求め、またそれが若者の特権のように云われておりますが、見ていると案外似た行動、考えて生きているようですね。当大学では毎年

学生にアンケート用紙を配り、考え方や日常生活、勉強等を書き込んで貰っていますが、過密なカリキュラムで、勉強に追われていることを除けば、他の医学系学部と大きな違いはありません。試験は学生にとっては最も深い関心のあることなのですが、私の科目についていえば、今の学生は合格点さえとれば良い、という考え方からか全



力で満点を狙うと云う人はあまりいないようです。白紙という学生も1人2人いるんですよ。わからない、あきらめよう、とアッサリ投げ出すんですかね。昔ではあまり考えられなかったことですが。卒業後の進路にしても、低学年では歯学部を出たから、絶対歯医者になる、とも思っていないようで、自由自在にその時に合わせて方向転換しようと思ってるようですよ(笑)。」歯科教育の在り方については「先に云いましたように、今後は各大学で個性と特徴を出して良い、ということですから…。私個人の考えですが、いま迄は教養2年、専門4年と切り離されておりましたが、この2年の教養課程に限らず、特にインフォームド・コンセントが大切と云われる今日、将来臨床を目指す学生は、専門知識のほか充分な教養を身につけておく必要があります。ですから2+4=6ではなく、6年間一貫した教育の中で、広く深い教養と知識を身につけると同時に臨床も学ぶ、という形が理想のようにも思うのです。昔の医者・歯医者は云い方はおかしいのですが、どちらかというただ威張っていて、またそれが権威でもあり、時には患者にとっては苦痛をとり除く神様とも映ったと思うのですが、これからはそうはいきません。たまたま先日読んだ『アルバート街の子供たち』という本の中で、スターリンが云っているんですよ。嫌いなのは、どこが悪いのかも説明せず、あまりに尊大ぶって、その職業を謎のベールに包んでおくような歯医者さん、だったと。もちろん、ただやさしいだけではダメで、技術と知識のほか教養も充分身につけ、お互に納得のいく治療をする歯科医、場合によっては患者さんが治療方法を選べる時代に入りましたから、今後は増々そうしたものの必要性が出て来るのではないのでしょうか。」

私立から発達したと云われる、わが国ではめずらしい形の歴史をたどった歯科医療界。いまやっと、と云うべきか、国立にも新しい風が吹き始めたようだ。医学発祥の地と云われる長崎にあって、今後はどのように変化して行くのか。たのしみな大学のひとつである。

社団法人 栃木県歯科医師会

会 長／榎石 武則
 副 会 長／遅沢 文男
 副 会 長／柳田 浩司
 専務理事／大沢 三郎
 常務理事／鰐原 悦郎
 常務理事／鎌田 定男
 常務理事／新井 武
 常務理事／今井 邦
 常務理事／秋田 益夫
 常務理事／鈴木 義秋
 理 事／秋山 博右
 理 事／湯澤 哲郎
 理 事／清野 晃
 理 事／佐藤 秀夫
 理 事／柿沼 幸宏
 理 事／高塩 治郎
 理 事／鈴木 孝三
 監 事／野村 勝
 監 事／大塚 義雄
 顧 問／吉谷 宗夫

宇都宮駅から商店街を抜け、車でおよそ20分。栃木県歯科医師会館は国道119号線より道路1本入った、広い敷地を有する静かな住宅街にある。高さこそ2階建てであるが、奥行きもあり、県歯の単独会館としては十分な広さを保つ堂々としたビルだ。

本日は、厚生省と県の共同指導が行われ、その終了を待って、ご出席者7名の役員の方々に、県歯の状況、ご活躍、また、現在直面している問題等を語って頂いた。

Q：栃木県歯会が他県と違う、何か特徴がありましたら？

鰐原：当県の会長は、歯科医師会の主な活動機関である県歯会、政連、学校歯科医、国保組合の4つの会長を総て兼ねています。通常は4人の会長がいてそれぞれ任期も違い、従って意思の統一や立場の違いから来る種々の問題が起りがちですが、一貫して物事の処理に当たることが出来る良さがあります。これが大きな特徴ですね。

Q：ありがとうございます。ところで、いま読者の先生方から、我々臨床医の意見が上層部につながらない、という声がよく聞かれます。その点については？



会 長／榎石武則

会長：難しい問題ですね(笑)。確かに今は保険や歯科医過剰問題など、解決しなければならぬ問題を多くかかえ、皆さん悩んでおられることと思いますが…。県歯会の第一の方針は、縁あってお互に歯科医になったのですから、明るい民主的な歯科医師会、即ち、「和」の精神で何事も解決して行こうと機会あるごとに話しております。各地区歯科医師会の新年会を始め、総会、研修会など各種行事には、必ず出席し、なるべく多くの方達の意見、悩みを聞くことを心掛けております。また、冠婚葬祭一婚は頼まれた場合の話ですが(笑)一には県内のどの地でも行くようにしております。たゞその場合でも、都市部と過疎地、医院の患者層や診療方針など、色々事情が違いますので、一概には云えませんが、日歯会(代議員として既に13年)の意向、現状下の解決方法など、腹を割って話し合っております。お陰様で当県では会員相互のギクシャクした関係が全くなく、その点は誇りに思っております。



常務理事／鰐原悦郎

大沢：現在県民は約190万人で、それを会員851名と非会員その他で計約1,000名でカバーしております。幸い会員の方々が会長の方針である「和」の精神をよく理解してくれていまして…。和=調和は時として進歩が少ない、と思うむきもありますが、私は争うことが進歩ではない。調和の中で、会員に如何にして生き残る手段を見つけ出してやるかが、私達の役目の一つだと考えております。



うした意味で、現状下においては、これがベストかどうかは別にして、給付外診療も患者さんの了解、納得があれば薦めることが良いと思っています。保険点数の是正は私達役員にとっても急務。同じ悩みでもあります。



専務理事／大沢三郎

Q：わかりました。では皆様の業務分担に沿って、それぞれお話し頂けますか？ まずは柳田副会長さんから…。

柳田：私は医療管理と福利厚生を受けもっております。色々ありますが、その中から…。医療管理の主なものは、会員の事故に対する責任保険があります。保険総額1億円以内で、県歯で総てを負担、万一の場合、歯科医を守る制度です。現在は年に5～6件小さな事故は起こっていますが、幸い大事故はなく至っております。が社会風潮も変わり、患者の主張する時



副会長／柳田浩司

代を迎えておりますから、今後は増える可能性はありますね。福利厚生の主なものは…、県歯会には「明生会」という65才以上の方を招待し一晩色々な話を聞きながら話しをする懇親会。また家族と会員が共にたのしみ7月の歌舞伎観劇会、10～11月に行なわれる囲碁、ゴルフ他7競技大会や永年勤続表彰等があり、毎回300～400名の出席者で大盛況。皆さんから喜ばれております。

今井：私は公衆衛生を担当しております。第一生命から第29回目の保健文化賞をもらいましたので、その賞金と会からの拠出金を基金に歯科保健賞を設定。毎年地域の中で歯科保健衛生の為に貢献された



常務理事／今井邦

方々を表彰しております。その他の県でも実施されていることと思いますが、6月4日から始まるムシ歯予防週間の図画・ポスターのコンクールや検診など、県民と歯科界のコミュニケーションを図る行事等を。今後も新しいものを加えつつやって行きたいと思っております。

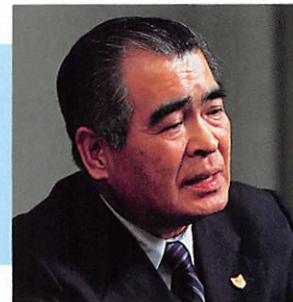


常務理事／鈴木義秋

鈴木：私は診療所業務の担当です。昭和46年から当県歯会館の中にある診療所で、当初は主に肢体不自由児の診療を行っておりました。これは日本でも3番目位に古い着手でしたので、今では県民にほぼ知れ回り、150名の実行委員の方達が、現在当番制で毎週、火、水、木、金の4日間勤務しております。また県下の在宅障害者の診療も障害者歯科相談医128名で現在1年に約1,000名の方々の第一次診療を実施し、第2次は日赤、第3次は大学病院へ、というシステムになっています。

新井：私は保険を中心に…。今日も先程話がありましたように、厚生省と県の共同指導があり立合ったところであります。また保健の指導は集団、小集団、個人指導、

指定更新に伴う指導講習会、新入会員研修会等を県歯または県と共催で実施しております。その他、点数改正時の説明会、また支部の要請による保健講習会等、他県同様随時行っておりますが、そうした会合でも、出来得る限り会長が共に出向き、保健の現状や歯科界の直面している問題点など、会員相互の意志の統一を図る努力をされています。また会員の方々も、そうした機会を待って発言されておられるようですし、私達役員とのギャップは当県では少ないと感じておりますね。



常務理事／新井武

Q：では最後に栃木県歯科医師会の将来の展望について会長からコメントを…。

会長：現在は先に云いましたように、歯科界には多くの解決しなければならない問題点を抱えております。やはりこうした問題は一步一步我々の努力で、国や県民に理解させていくことが大切かと思えます。そうした意味で、県歯としてもあらゆる機会をとらえて対話するように努めております。例えば地元の栃木放送のラジオを通じて毎週定期的に会員交互が出演し、疾病や予防について話しております。また、去る6月4日には私も歯にまつわる話をいたしました。我々の立場をPRすると共に県民との交流を少しでも多く持つ努力をしております。これからも地道ですが、和の精神を基本にして、着実な前進を願っております。



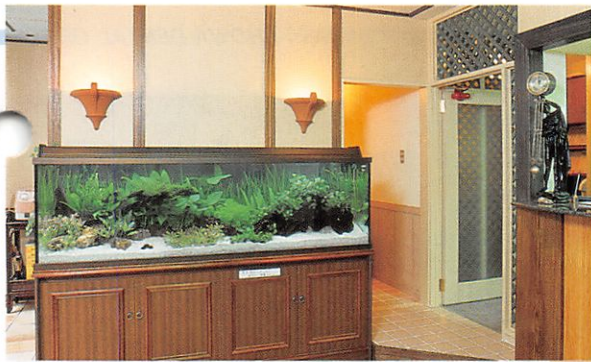


正和歯科医院

東京都新宿区新宿1-10-3 坂栄第1ビル1階

院長 久保正和





世界最大の都市・東京。その中でも新宿ほど複雑で多面的なイメージを与えている街は他にはないだろう。それだけにこの混然とした街は何度訪れても、飽きのこない不思議な魅力を感じさせるところである。

ご紹介の正和歯科医院は、この目抜き“新宿通り”を四谷方面に新宿御苑前駅から2～3分のテナントビルの1階にある。自動ドアが開く度に、待合室に置かれた1人掛けのゆったりとした藤椅子、大きな水槽が目に入り、正面の受付が見えなければ、ホテルのロビーかと間違えそうな雰囲気だ。

受付横から診療室内へ。壁にそって正面特診室まで続く通路には淡い紫色のジュータンが敷かれ、診療ユニットはその通路に沿って一つのコーナーにわかれ設置されている。床は木目だが、中央部は淡いグリーンに染色、キャビネット、飾りの矢来と統一させてある。

壁面には熱帯魚、ヤシの浜辺、といった南海の楽園風景のカラーパネルが、2台ずつ置かれたスマイリー〈ファインS型〉、スマイリー〈GM〉の前面部にはビデオが取り付けられ、ここからも同様の南国ムード画像が放映され、聞こえるBGMはこれ又、ハワイアンミュージック。自分がどこの街にいるのか、と錯覚させるほど、その演出は徹底している。

通された医局員室。そこには、各月別患者数が社保本人、社保家族、国保と一目でわかるよう壁一面に、片方にはそれぞれの実績額と今年度1カ月の努力目標額が貼られている。今迄何百という歯科医院を訪ねたが、こ

ろほどオープンに提示されている医院は初めて。院長の開放的で明朗な性格と、職場、仕事はそこで働く全員のものだ、と心から思われている経営方針がわかるようだ。

又、大都会のど真ん中という環境からか、正直に生きたいと思われている院長の人生哲学からか、お話しもおそらく現在の歯科医師の多くの方が感じられているであろう本音をズバリと話され、スッキリと、かえって気持ち良い。

院長は昭和40年、日本大学歯学部を卒業。その後続いて同大の助手、付属病院で3年近く研究・勤務医生活を。42年12月、ここより徒歩1～2分の四谷にて開業。昭和55年5月、弟さん(現在、東京・石川台で開業中)と共に現在地に移転。なお、東京・浅草にあるご実家も歯科医で、現在は3男である弟さんが跡を継いでおられる。兄弟中、紅一点の妹さんは衛生士兼受付として現在当医院で共に活躍。4人の兄妹が全員歯科医療人という恵まれた環境。ご実家のご両親もさぞご満足であろうと想像する。

Q：四谷から移転されたとのこと、どのような動機で移られたのですか？

院長：私はもともと現在の保険制度下では、歯科医は肉体労働者としての評価しかされていない、と思っているんです。頭脳労働者として私自身を位置づけるためには自由診療を、と願い、最初は裏通りの静かな一角で開業しました。自由診療を主体として13年間——、ところが、第1次、第2次と続いたオイルショックで、患者さんの生活や意識も一変。保険の範

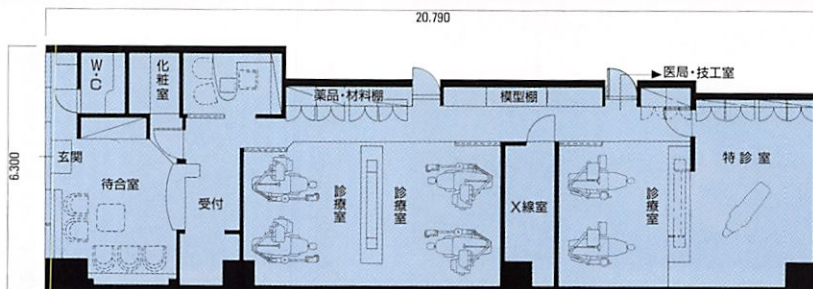
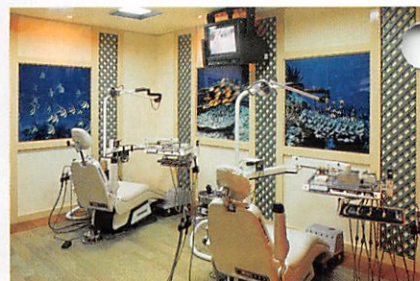
国内でという方が俄然多くなりました。保険患者を主体としなければならず、弟も大学を卒業するので共にやろうということ……。それには人目のつく表通りの一階がベストと、ここに移転しました。移転後は患者さんが希望しない限り初めは保険診療でしたが、昭和61年5月の連休中に特診室を作り、再び理想とする自費診療を中心とした診療体系に移りました。

Q：スタッフ構成と患者数は？

院長：常勤医師は私を含めて4名。日替りて来てくれるアルバイト医が3名。衛生士3名、助手・受付7名、技工士4名、事務2名の総勢21～23名です。患者数は1日約100名。常勤医師1名に付20～25名を目安に診療しております。でも本当は3～4名のスタッフでゆったりと私を信頼して来院される患者さんを中心に自由診療をしたいと思っていたんですが…。オイルショックで(笑)…。

Q：歯科医師として生きた25年。現在のご心境は？

院長：清潔好き、物を片づけることも好き。目標を決めて、そこに到着するまでの道程を考えたり、クリエイティブすることも大好きですから、歯科医になったことには満足です。たゞ日々の仕事の中で、自身(患者)の健康、しいては口腔状態について関心がある人はいいいのですが、いくら説明しても、どんなに一生懸命やっても感謝や納得がない人はイヤですねー。



それを解らせるのが私の務めかも知れませんが、感謝の気持ちを表わすのも患者さんの務めだと思うんです。保険診療の中身についても、本人が納得しているのか、いないのか、中途半端ですと、気苦労ばかり多く、後のことを考えると悩みますね。しかし、現在の保険制度下では十分な説明とコミュニケーションを取る時間はありません。極端かも知れませんが、薄利多売。残念ながらそれですね。

Q：最奥部にございます「DENTAL TREATMENT SPECIAL ROOM」。この特診室の定義については？

院長：たとえお金がかかっても、ゆっくりとキチッと双方が納得する診療を、と望む方。自費の患者さんを治療する為の室です。ちなみにこの辺りは坪5万円の家賃を払わなければなりません。スタッフの費用も加算しますと、相当の資産家か持ビルでなければ、正直なところ総て保険ではやっていけませんね。

Q：難しく、重いお話しを有り難うございました。ところでこの素晴らしい診療室、雑踏の新宿とは思えませんね。どなたか専門家に？

院長：え、その道のベテランである白根さんに(オサダ代行店)頼みました。少々私の趣味も入っているんですが(笑)。待合室は、リゾートホテルのロビー風に。診療室も耳と目で軽快な気分の中で治療をする雰囲気に仕上げたつもりです。保険の問題はさておき(笑)、医療の基本はお

互いのコミュニケーションが最も大切ですからね。最も、ハワイアンはいまどき流行らない、というスタッフもいますが(笑)。

Q：スタッフ教育については？

院長：ドクターは時間の許す限り毎週水曜日に研修会兼ミーティングをやるようにしております。女性の方は、私が初めて開業した43年当時から勤めてくれている衛生士——我々は婦長と呼んでいるんですが、その人と衛生士兼受付の担当で10年以上のキャリアのある私の妹、それに7年近い保険計算のベテラン、経理一切を見る経理士資格を持つ人、計4人の女性が総て指導、切り盛りしてくれています。私はこの方達を女性四天王と呼んでおります(笑)。

今後、歯科医院における女性の役目は

益々重要になってくるでしょうし、そした女性が楽しく働ける職場空間を提供するのも、院長の努めだと思います。歯科界もそうですが、病院の看護婦さんも、夜勤もある長時間労働では足りなくなるのは当たり前、もっと根本的な問題を解決していくべきでしょうね。

Q：数あるメーカー、機種から、何故オサダの「GM」に続いて「ファイン」を選んで戴いたのですか？

院長：やはりアフターケアを含めた総合的なサービスでしょうね。全顎レントゲン、マルチビジョン2台、その他細かい機器までオサダ商品はずいぶんあるんですよ。開業時からそうですが、私は自分の得意な分野、環境に最もふさわしい機器を選ぶこと。これを実行して来たつもりです。



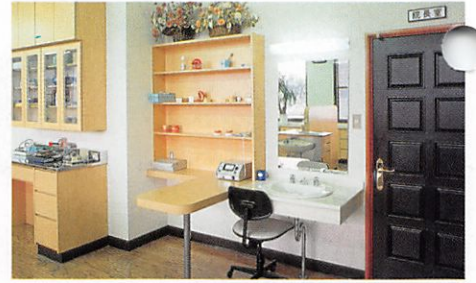


飯山歯科医院

鹿児島県曾於郡有明町野井倉7724

院長 飯山俊浩





鹿児島空港から車でおよそ1時間40分。ご紹介の「飯山歯科医院」は日南海岸国定公園内の志布志湾に沿って走る国道220号線ぞいにある。前面の駐車場は、何台位の車が駐車出来るのか—35~40台は?と思われるほど広いスペースを確保されている。院長先生のお話しによると以前は鉄道も走っていたが廃線となり、バスも1日2~3本、その為ほとんどの方が車を利用して来院されるとのこと。典型的ともいえる郊外型歯科医院である。建物全体も敷地の間口85mと云われるだけあって、横に長く、銀色をベースに薄青をアクセント色としたイメージは、医院という暗さは全くなく、南国らしい明るさと開放的な印象を与えている。

入口は、北国では危険だが、さすが南国、車椅子でも簡単に昇れるゆるやかなスロープ状のみ。

待合室は、木目のビニタイルの床に、椅子はおよそ25脚。一人掛の肘付きソファが受付に向かって並列にならんでいる。

受付前面には、ムシ歯が出来るまでや、その予防法が手作りのイラストで可愛く描かれてある。おそらく女性スタッフの手によるものであろうが、これを見ただけでこの医院全体の、患者さんとスタッフまた院長の人柄、暖かさが解るような気がする。

診療室は、床、天井、壁とも待合室と同色同材。窓に沿って並んだ薄茶とベージュのスマイリーN 5台とコンビ300 1台。各ユニットは木目の間仕切りで区切られ、それぞれ番

号が表示されている。間仕切りは写真でもおわかりのように、飛行機の尾翼に似た形で、各個に専用キャビネットと手洗い鉢が取り付けられている。木肌の暖かさと若い主(あるじ)らしいモダンさが程良く調和し、患者さんもおそらくホッとするであろう雰囲気仕上げています。

その他、X線室、技工室、院長室とも総てゆったりと広めに作られ、都会地では考えられないような恵まれた診療所である。

院長は岐阜歯科大学(現朝日大学歯学部)の第9回卒業生。卒業後は九州に戻り、鹿児島市内で3年、郡部で1年と、計4年の勤務医を経験。一昨年4月、小学校時代から育った此処有明町で開業された。

いかにも九州男児らしい堂々たる体格と飾らない口調が好感を与えるのであろう、患者数も想像以上に多いようだ。

Q: 広い敷地と素晴らしい建物。自力ですか?

院長: はい。母屋のあるところは父の敷地ですが、診療所の建物と土地は私が買いました。敷地は全部で650坪あります。もともとオール借金で、銀行と公庫から借りましたが父が薬局を経営しておりますので、信用もありません分助かりました。でもこれからの返済が大変ですよ(笑)。

Q: 患者数と患者層は?

院長: 患者数は1日60~70人。夏・冬の休み時には子供さんも多く、時には100人近くなることもあります。患者層は農家の

方、漁業の方が中心ですから、繁忙の差が烈しいですね。また駐車場が広いから、埋め立て地に入出入りされる大型トラックの運転手の方達もちょくちょく来院されます。

Q: 昔はともかく、今では大変な数ですね。

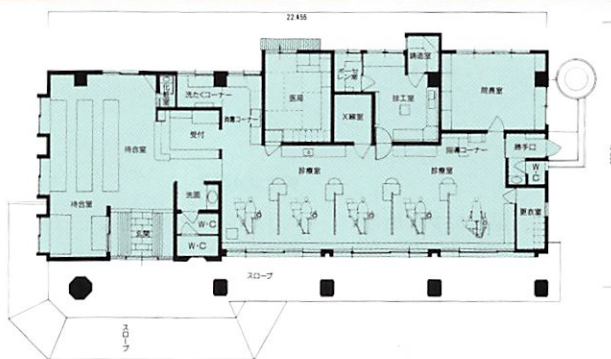
院長: え、それが一方、私にとっては悩みでもあります。この町は人口約13,000人に対し、歯科医院は当院1軒だけですから。本当は30人位の患者さんをじっくり治療するのがいいことはわかっているんですが、今のところは当分無理でしょうね。代診の先生を、と思うのですが、ちょっと田舎すぎて…。今は体力との勝負ですよ(笑)。

Q: では予約制は無理でしょうね。治療費用の内訳は?

院長: え、夕方5時過ぎあたりから急に混み始め、1~2時間待ちはずらですから、とても予約制は無理ですね。治療費はほとんど全部と云っていいほど保険です。自由診療は開業以来2件だけです。

Q: 診療室を作られるにあたって留意された点は?

院長: そんな訳で長時間待つ患者さんが多いため、待合室の椅子も1人掛けて座り心地が良いようにゆったり広く。診療室の間仕切りは高くなく低くなく、初めは衝立のようにしようと思いましたが、安定が悪く、キャビネットを取り付けました。全体のイメージカラーは、ユニ



トのレザー色が好きで、それに合わせ茶系で統一しました。知人の診療室やおサダの開業ガイド、ズーム・アップ等色々参考にしました。また、この辺は台風がよく来ますので、建物前面部は総て自動シャッターが降りようになっているんですよ。私は太っておりますから(笑)、どの箇所もゆったり広くしました。ちょっと贅沢ですが、後で広げようと思ったら大変ですから新装時に思い切って…。

Q：スタッフ構成は？

院長：医師1人、衛生・助手5名、技工士1名の計7名です。遠い人は40分以上かけて通勤しておりますが、開業以来1人の退職者もなく、皆さん頑張ってくれております。とにかく私は、明るく楽しい職場であれば、と願っているんです。

Q：診療上心掛けておられる点は？

院長：私は「…された」と云う言葉が嫌いなんです。その言葉の中には、自分の意志に反し、医者が勝手にやった、という意味がありますよね。ですから私は、それが正しいかどうかは別にして、患者さんによく説明、納得してもらい、患者さんの気持を一番大切に考え治療するようにしています。歯科医として完璧かどうか、という疑問は時には残りますけれど…。

Q：何かご趣味は？

院長：大学時代は洋弓をやっておりましたが、今は全く。JAFの「ジムカーナ」に出て、カーレースを時々。でも運動不足

とストレスでどンドン太り困っているんですよ(笑)。

Q：歯科医師を志された動機は？

院長：祖父の従兄弟が2代続いた歯科医で、勧められて中学時代から…。もともと手先を使うことが好きだったから、この職業は私に合っているみたいで、現在も良い仕事だと思っています。

Q：オサダのユニット。どうして選ばれたのですか？

院長：私の記憶ではオサダの機械を使ったという経験はないんです。家内が榎下町歯科医院で結婚前働いてまして、その院長先生より、買うのならアフターの良いオサダが良いと勧められ…。都会地と

違って、地方ですと故障時にすぐ来てもらえないから、とにかく故障が少なく、アフターケアのしっかりしたメーカーを、とオサダに決めました。——(傍から奥様が)女性は特に機械オンチでしょ。オサダさんは簡単な故障でも云えばすぐ来てくれましたし、感じの良い方ばかりでしたので…と。

Q：有り難うございます。では最後にご友人、知人にメッセージを。

院長：今迄は時々会う機会があったが、これからは結婚や開業と忙しい時期に入ります。でもせめて10年に1度位は皆さんに会いたいですね。身体に気をつけて頑張ってください。



オサダの商品
〈お元気ですか〉

古賀歯科医院

東京都世田谷区船橋1-12-15



院長 古賀正夫

ら都の公衆衛生委員として8年かけて欧米34～35ヶ国を回りましたが、その都度、オサダのユニットを自慢してましたから、有名ですよこの機械は(笑)。

お生れは葉隠れ武士で有名な佐賀県。日大歯学部を卒業後、杉並区・和泉町で開業の第一歩を。軍靴の響きが強くなった昭和11年のことである。「徴兵通知が来て、久留米師団に入隊の予定が、検査で結核の痕跡ありと帰さ

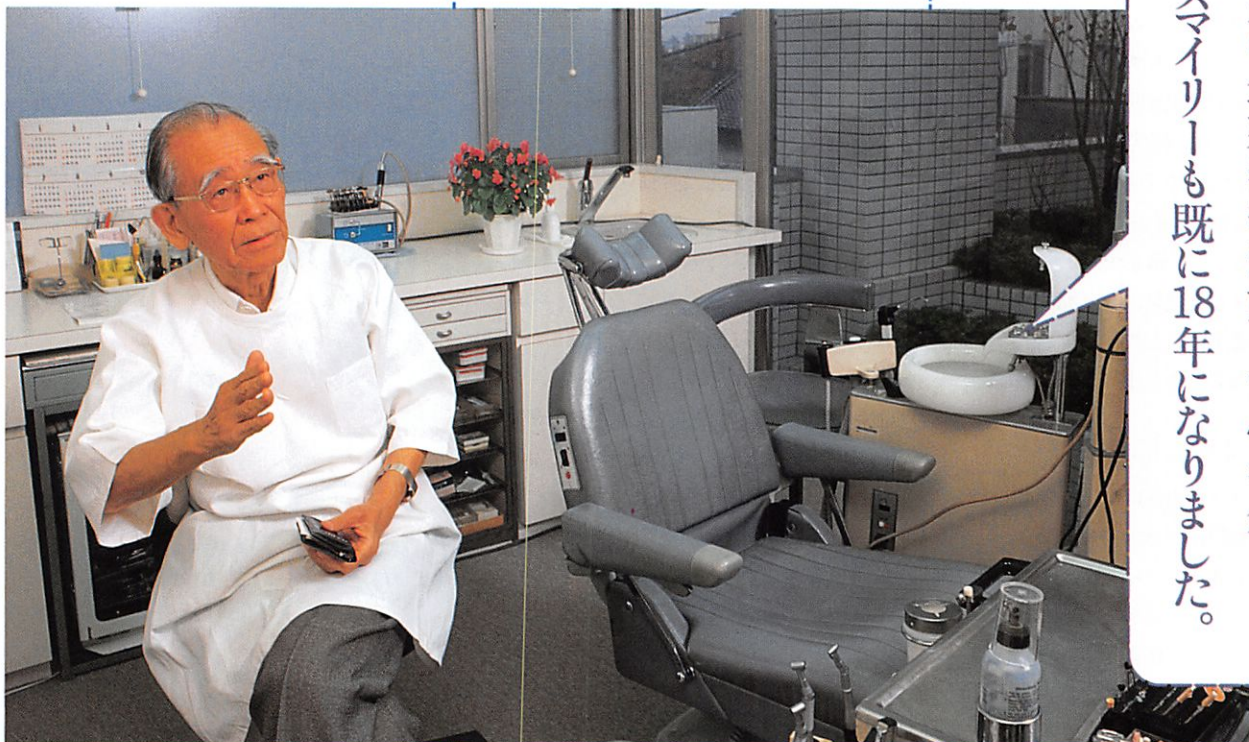
れました。この師団はその後ナルカナルの戦争でほとんど壊滅しましたから、もし行っていたら、おそらく死んでいたでしょうね。その後昭和20年、東京大空襲で和泉町の診療所は丸焼け、やむなく宮城県に疎開、獣医学学校の嘱託医をして2年程過ごしました。」2人のお子様も、ご長男は東歯大の講師、ご次男は院長の片腕というよりも、古賀歯科医院の実質上の主(あるじ)として、現在治療にあたられている。今年78才になられたが、現在でも顔見知りの患者さんを1日3～4名、このスマイリーを使ってゆっくり診療されておられるようだ。「60年に胃を切りまして、私は先の戦争、空襲、と3回死をまぬがれて来ましたが、いまこうして私を頼って来られる方の診療をやったり、好きなゴルフで過ごしたりしていただけることは幸せですね。心の喜びを何でもいから人に与える、を心掛け、日々をたのしく生きる、これが私の今の生活信条です。」ご自身は、昔は短気で人使いが荒かった、と云われるが、温厚そうなお顔からはとても想像できない。一つのことを精一杯やり遂げた人だけが持つ「良い笑顔」がそこにあった。

オサダの企業姿勢が好きで40年余り。
このスマイリーも既に18年になりました。

小田急線千歳船橋駅前。入り組んだ路地の両側にギッシリと商店が並んでいるが、さすが世田谷の高級住宅街を抱える街だけに、どの店もどこか洒落た雰囲気漂わしている。

ご紹介の「古賀歯科医院」もこの一角にある。1階、2階の道路に面した約半分はブティック、喫茶店に貸し、半分を母屋、医局、そして3階全部を診療室に使用されている。

専用エレベーターで昇り待合室へ。全面素通しガラスからはルーフガーデンが。商店街の真ん中とは思えないほど静かだ。通された院長専用の診療室には、18年前にお買上げ頂いたスマイリーがデンと置かれている。これだけモダンで明るい室内に…。しかし不自然さは全くない。チェアー、タービン…1つ1つを手にとってご説明下さる院長、このユニットが可愛いくてたまらない、といったご様子に思わず、幸せな奴だ、と声をかけてやりたくなる。「オサダとの出会いはもう40年程前になりますが。開業当初は他社製品を使っていたのですが、故障で連絡しても全く来てくれない。たまたまオサダの営業員が来たので、事情を話すとすぐ修理をしてくれました。以来ですね、すっかりオサダの社風に惚れ込んだのは(笑)。展示場、工場と出掛けて行き、当時の社長(現会長)と機械についてずい分やり合いましたよ。その後昭和30年代の後半か





川越昌宜先生

の巻

鹿児島大学教授

丘陵地に、南国の明るい日射しを浴びて建つ鹿児島大学歯学部。

今号の誌上交遊録は、当歯学部の設立以来13年余りご奉仕、ご活躍されている歯科保存学第一講座教授・川越昌宜先生を訪問しました。

お生れ育ちも鹿児島。が、お会いした先生の風貌は、西郷隆盛や二階堂進に代表される薩摩準人とは異なり、どちらかと云えば京都の公家出身を思わせる。口調もゆっくりと丁寧でやさしく、紳士の見本の様な方である。もっとも当方がNHK大河ドラマを見過ぎていのはいささか否めないが…。ご本人も「私の父は大正の末から50年余り歯科医院を開業しておりまして、始めの頃は私に跡を継いで欲しいと思っていたようですが、私の性格でしょうか、それとも大学で臨床に永年従事したせいでしょうか、何しろ治療が遅いんです。一人の患者さんに時間をかけて納得のいくまで治さない…。沢山の患者さんを診ないと採算のとれない保険診療には向かないと、父もあきらめたようです。自由診療を考えたこともありましたが、税金で勉強させてもらっているながら、金持ちだけしか診ないで果して医者といえるか」とある恩師に諭され、なるほどそうだ…。とやめました」と笑われる。歯科医師になられた動機は「医学部を受験するつもりでおりまして、丁度前年から阪大医学部に歯学科が併設されており、友人から「君のお父さんは歯科医だから歯学科の方がよくないか」と云われて入学しましたが、その年の10月に歯学科は歯学部にかわり、卒業したら歯科医師でした。卒業後は大学で23年間お世話になり、昭和53

年4月に本学に参りましたが、息子が帰って来ると楽しみに待っていた父は、その3年前に亡くなりました。現代の歯科治療を当時と比べて「私達の卒業した頃は、電気エンジンでしたから回転が遅くて切削効率が悪く、その上振動がありました。また麻酔なしに削るように指導されていたから、患者さんには嫌われました。しかし患者さんの痛いと言う言葉が歯髓に近づいたという目安になって、歯を削り過ぎることや麻酔薬の副作用などはありませんでしたね。」「また、昔は完成教育が目標でしたから臨床実習が充実していましたが、最近は医療過誤その他の問題で見学を主体にした実習になってきましたし、国試でも実地試験がなくなり、卒直後の



研修が非常に重要になってきましたね。卒業生全員の研修がたてまえてですが、大学の施設や教官には限りがありますし、また国の予算の関係で研修生の数に限度があります上、年度末にならないと受入れの数が分からず、卒業生もとまどいまして、病院長時代にはずい分悩みました。開業の先生方からは「最近の卒業生は…」と小言を頂戴しながらも、研修ではずい分助けていただいております。振り返っての人生は「数え切れない位の良き恩師、先輩、同僚、後輩に恵まれて、助けて頂きながら今日まで来れた、というのが実感です。」「戦争中は動員に駆り出されたり、また戦後は空襲で家が消失してしまいましたから母方の里に引越しまして、その一番列

車では中学校に間に合わないで、隣の駅まで約4km歩いて4時半発の列車で通ったりで、苦勞もしましたよ。

近年歯科医療の最先端といわれるインプラントについては、「私は専門ではありませんので詳しいことは分かりませんが、最近材料やテクニックも随分よくなっているようです。しかし、症例にもよりましようし、また個人差もあるでしょうから…。整形外科で股関節の悪い人に人工骨を移植されますが、大体20年は大丈夫といわれます。そこで60歳で人工骨の手術を受けると、大体一生(80歳まで)もつこととなりますが、人工歯根もこれと同じように20年間は大丈夫ということになれば、歯槽骨の吸収した総義歯の人や遊離端義歯の方々は大変助かると思います。しかし概して口腔清掃の悪い人ほど歯が悪いですし、また自分の歯でさえむし歯や歯



周病などにかかり、なかなか一生はもたないですから…(笑)。まだ適応症は少ないのではないのでしょうか。

保険点数の中身については、「歯科医の処置は外科医の手術と同じで、医師が自ら手を下さなければなりませんのに、最も大切な技術料が残念ながら正当に評価されておられません。これでは名医は育ちません」とキツパリ。多くのご経験の中から、巣立っていく学生に常々お話しになることは「私は周りの人達のご援助によって今日があると思っておりますから、学生にはとにかく人との出会いを大切にしてくださいと…。人が一生の間に親しくなる数は、世界何十億の中のほんの一握りなんです。ですから患者さんも含めて知り合った方達を大切に、相手から信頼されることが生きてゆく上で最も大切だと話しております。生き方も指導も誠実一途な印象。昨年ご還歴を迎えたばかりの61歳である。

W I P A

(和歌山インプラント研究会)

会長／和田 徹夫
(日本口腔インプラント学会理事)

和田 昭子
井関 勇
武田 太之
前田 佳英
竹内 大策
高橋 俊晴
(順不同)



近年歯科医療におけるインプラント治療はまさに奔流とも呼べるほど、施す歯科医師はもとより、患者間においてもその浸透度を早めている。ご紹介のWIPAはこのインプラントの研究会として既に14年目を迎えている中身の濃い本格的なスタディーグループである。

本日の会場は、和歌山県・白浜温泉にあるホテルの会議場。前日和歌山市内で産業歯科医学学会に出席された方々が多いと聞いたにもかかわらず、朝9時30分から開催された会場には、大阪、神戸等遠方からの先生方も加わり、熱心に勉強されていた。頂いたプログラムの項目も11項あり、「外側翼突筋筋電図の一例」「バイオセラムサファイアインプラントの長期経過観察」「全顎骨内インプラントの経過観察と長期維持についての考察」等、大学での研究者なみの講演内容がズラリと並んでいた。

なお、会長であられる和田先生、奥様の昭子先生、会員の前田先生、武田先生と共に発表された顎骨の「廃用性骨粗しょう症」に関する研究は、新聞にも紹介され、インプラント学会に、貴重な研究報告として一石を投じたことをご存知の読者の先生方も多いことであろう。

研修会に先立ち、グループ内から、会長先

生ご夫妻を初めとし7名の先生方からこの会の設立動機、運営、更にはインプラントの現状や問題点をお聞きした。

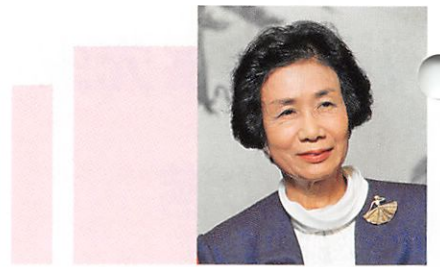
Q：14年前ですと、まだインプラントの萌芽期ともいえる時期。設立の動機は？

会長：私の臨床インプラントは、17～18年前フランスのシェルシェブ教授の初来日の時に講義を受け始めましたが、それから2～3年後、京都でバイオセラムの研究会があると聞いて成川先生や家内共々出席し、これからの歯科医療の流れはインプラントにあると思い、この会を15名の



友人と共に設立しました。その10年程前、私自身の歯の欠損部にゴールドを材料としたインプラントを家内にやってもらっていましたが、歯根膜の問題が解決出来ず断念しておりましたので、新しい素材の登場は、すぐ私達を次のステップに導いてくれました。

和田(奥様)：最初主人の歯を、義歯でなく人工歯でと思いゴールドを材料としたインプラントで行いました。今から考えると随分無謀なことであったと思います。もう22～23年前のことですが…。その後、そうした研修会がありますと欧米を初め、国内でも、大歯大の川原先生や三谷先生に紹介していただいたり、あらゆる



機会をとらえて勉強しました。それを会員の方々に報告し指導しておりましたが、いまでは皆様、理論、技術共優秀になられ、私達が教わることが多くなりました。現在は会員も60名以上となりまして、それぞれの地域で頑張っておられるのを見ますと、たいへんうれしゅうございます。

井関：私が最初にインプラントをやりましたのは14～15年前です。その後スイスのDr. シュレーダーのITIの講習会を受け、この会で発表したりして、アッという間の14年。皆さん真面目な努力家で、しかも紳士(笑)。本当に良いグループで、内容もさることながら、これは自慢できますよ。



武田：私は10年程前にこの会に入りましたが、当時デンチャーでは噛めない人の為に、なんとか他の術式を覚えたいと思っておりましたら、身近に素晴らしい先輩がグループを作っておられると聞き早速入会しました。このグループは横のつな



かりがしっかりとしておりますから、術中に何か問題点や疑問が生じると、すぐ飛んで行ってお互に的確な処置、治療を施すようになっております。私もまだまだ勉強途上ですが、特に若い先生方には力強い先輩が身近にいることは非常に心強いのではないのでしょうか。毎週水曜日和田先生の診療室で誰かが学んでおりますが、大きな会は年2回。1回は外部から講師を招き勉強、1回は自分達の課



題を発表する会としております。ご存知のようにインプラントは、補綴、保存、その他歯科に関する総てのものを包含しておりますが、そうした意味でも、この会にはそれぞれのベテランが揃っておりますから、あらゆる角度からの勉強が出来ますし、云い方は悪いのですが、先輩の経験から、どんな場合のどのような治療に失敗があるのかを事前に知ることが出来ます。良いグループに入ったと心から思っております。

前田：インプラントは骨細胞などまだまだ未知の分野が多く、材料なども含めて講演会等で勉強しても、それがいつの間にか良いものではなくなったりして、実際我々には本当にどれがベストか、成功の基準さえもわからないのが現状です。私の場合は、そうした中から、臨床を通じ



て得た、自身で納得出来る良いものだけを採って治療しております。この会はそうした意味からも、大学以外では出来ないような研究やデータなども揃っておりますし、非常に良い会だとつくづく思いますね。

高橋：私も10年以上と古いのですが、確かにインプラントは難しい面もありますね。私はその基準を、痛くなくよく噛める、という患者さんの話を信じてやっております。患者さんの要望もあり適応症ギリギリの難しいケースもありますが、お陰様で悪いという人もなく現在に至っております。でも噛めるということが、実際ど



の位の力で噛めているのか、という疑問などは常に残りますね。

竹内：私がこの会に入ったのは8年前です。当時インプラントについて患者さんから要望がありましたが、未知な分野だけに、近くに良い先輩がいなかったか…。この会はお互に和気アアイの雰囲気、腹を割って聞くことが出来、そうした中から良いものを自身で見つけ治療しております。患者は常に当り前でしよ



うが、結果で判断しますから、適応基準など術前の良否をしっかりとやるのが大切ですね。

会長：会が発足してから14年。幸いこの会では、これというトラブルは起こってはいりません。ハーバード決議による成功基準というのがありますが、その水準よりはるかに上をいっていると自負しております。重要なことは、初めから患者にインプラントを決して過信させないことです。自然歯にまさるものはないとの認識で、術後管理に術者も患者も共につとめることが大切です。

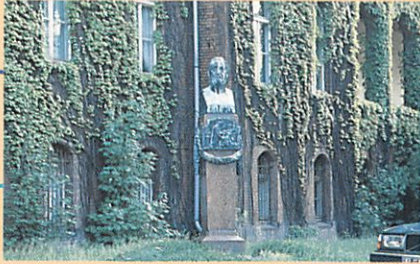
武田：最後になりましたが、全国の皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年も歯科医療の向上を共に願って頑張っていきましょう。



海外だより

東ドイツの歯科医療事情

(その3)



EAST GERMANY



EAST GERMANY



東ベルリン

東ドイツ取材では、出発前から電話で苦労した上、ティアフェルダー博士との予定取材日はタクシー会社に電話がつかず翌日のびる羽目となった、と前号で書いた。後で調べたら、1988年度に家に電話を持っている家庭数は、西ドイツが98%だが東側では何と7%と判明。官庁・病院・大学・企業関係は当然もっと電話設備がととのっている筈だが、何となく東ドイツの電話不能率の原因が分かった気分になったから不思議である。

街並からは、東と西のベルリンの経済力の差はあまり感じられないが、東側に入って大通りを走っている中に、まず空気が何となく変わった気になる。タクシーの運転手に聞くと、私の嗅覚は当っており、東と西では車のガソリンの質が違うとのことだった。

東側の貧しさは、一流どころのメトロポリ・ホテルにチェックインしてから次々と些細なことから私の目に入ってきた。一見ちょっと日本的なものを感じる検造りのような家具設備のルームの第一印象は清潔で整然。それもその筈で、不必要な物は一切置いていない。小型冷蔵庫を開けてみると中はガランとしていて、ジュース2本とビール2本がひっそりと立っている。簡単なホテルのサービスその他の印刷物はみなドイツ語。バスルームがいやに薄暗いので良く見たら、4本の蛍光灯チューブが入るところに1本しか入ってい

ない。トイレトペーパーは茶褐色で楽にメモ代わりに使えるようである。

私はここに3泊し、朝食とディナーはルームサービスで過ごしたが、閉口したのはまず99%オーダーしたのと違う物を持って来る事だった。英語のやりとりで確認してからオーダーするのだが、最初の夜の私の「鮭」のオーダーは「ニシン」となり、2晩目に再度「鮭」をオーダーしたら今度は「羊のステーキ」がやってきた。黒パンと白パンがついているが、バターは姿はない。フルーツのデザートも姿もない。コーヒー用のミルクがあまり毎回少ないので、一度コーヒーを2人分頼んで、「ミルクを沢山」と頼んだら、出てきたのは何時もの量の半分で、私は首を傾げてしまった。

レストランで食事をして、コーヒー用のミルク入れの中身は少量だった。多分ミルクは貴重品だったのだろう。しかし2人分頼まれ「何時もより多く」と念を押されたにもかかわらず、何時もの半分持って来たり、ディナーのオーダーが違うからといわれても、「取り替えるのは大変な問題です!」と言い張る態度は、西側とは基本的に大きく異なる思考過程を暗示してあまるものがあったように思う。



「死の罿」とライヒスタグ (Reichstag)

ティアフェルダー博士 (T博士) と会うのは午後2時だったので、昨日のタクシーの件が身に滲みていた私は、朝8時にホテルを出てフンボルト大学の^{シャリテ}医学部迄歩いて見ることとした。

シャリテは徒歩で20分程のところになり、蔦でおおわれたその建物は、しっとりと朝露を含んで朝日の中に建っていた。近くの広場には「健康」と「病氣」の格闘の像が建っている。この辺一帯の土地と建物はシャリテに属し、少し先に森鷗外が住んでいた下宿も此処に在る。

ぶらぶらその辺一帯を撮影しながら歩いていたら、奥が高い塀で行き止まりの横丁にさしかかった。前方は車の修理場のようで、奥に少し開いている小さなドアから塀の向こう側の陽射しが見える。人影まばらなのを幸い、私は工事場をつきつてそのドアから外に出た。

出てびっくりしたのは、途端に視界に飛び込んできたのは不毛の広場で、人影ひとつなく、私の背後の建物の世界とはガラリと趣の異なる光景だった事だ。都市計画?などと訝りながら歩いていく中に、前方彼方にポツンと建っている物の正体がかめる距離となり、仰天。テレビや新聞でなじみの監視塔だったからだ。途端に「壁」のことが閃いて、廻れ右をした私は、また仰天。何と私の背後



EAST GERMANY



には見渡す限りあの「壁」が、何時の間にか延々と広がっているではないか！

何時の間にか私は、パスポートもホテルに預けたままで「チェックポイント・チャーリ（東西通関地点）」も通らず、西側に出てしまっていたわけである。人影ひとつ無いという事は、多分立入禁止地帯という事であろう。さあ大変、見つかる前に撮影せねば、と夢中でシャッターをきる。広場の向う側は川で、その彼方には威圧的な建物があり、バスが次々と観光客を運んで来るのが見える。

そうこうしている中に、突然視界にひとりの男性が現れ、私の方に近づいてきた。(捕獲か？ 追剥か？ それとも——) と覚悟した私は、声かどく距離に彼が来た時、「ハロー」と声をかけてみた。こうして知り合うこととなったウルフ・クルーガさんは、私が恐れた警備兵でも何でもなくて、職場に行く途中のエンジニアと判明。彼は英語が出来ない、私はドイツ語が出来ない、という立場だったが、身振り手振り、拳句は地面に線を引いたり、ノートに字を書いたり、結構コミュニケーションをすることが出来たから不思議だ。人間は、「どうしても(それをせねばならぬ)」という必然性に迫られると、何とかする方法を見つけ出すらしい。

こうして私が知った事は、そこが「死の罠」と呼ばれる地帯で、此処で約200人の東ドイツ人が脱出を試みて射殺されたり、地雷にふ

れて死んだりしたということであった。今は取り壊されてしまったが、以前は川に沿ってもう一列の高さ約4メートルの壁があり、この2つの壁の間が「死の罠」と呼ばれたわけである。西側に脱出成功した人達の数は5,000人程度、見つかって捕えられ、壁が崩壊する迄服役中だった人達は4,000人程度という。

川向こうに威嚇的に聳え立つ建物は、ヒットラーのベルリン拠点だったライヒスタグだった。道理で、観光客がひしめいているわけだ。私が、象徴的ベルリンの表玄関ブランデンブルグ門の方角を聞いたら、クルーガさんは案内してくれるという。それで抜け出してきた壁のドアの方角に行こうとしたら「ニン！(ノウ!）」そして身振り「此方」と反対方角に歩き出した。こうして私達は壁づたいにぐるりと歩き、橋の袂の土管の山を越え、網戸の破れ口から壁の向こう側に這い出した。現地の人と親しくなると、彼らしか知らないこういう抜け穴を教えて貰える。

東ドイツのこれから

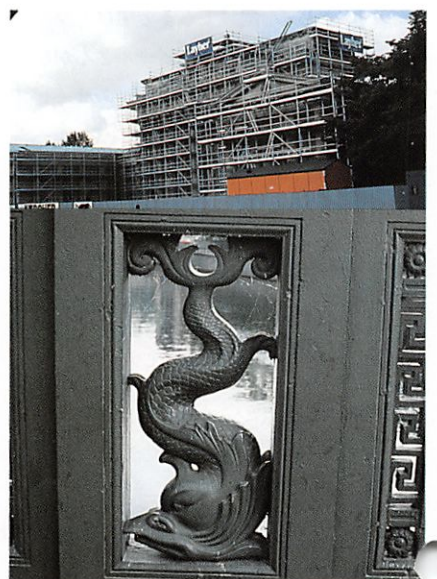
ナポレオンを初め、各国の国王、女王、首相、大統領が通過したブランデンブルグ門は

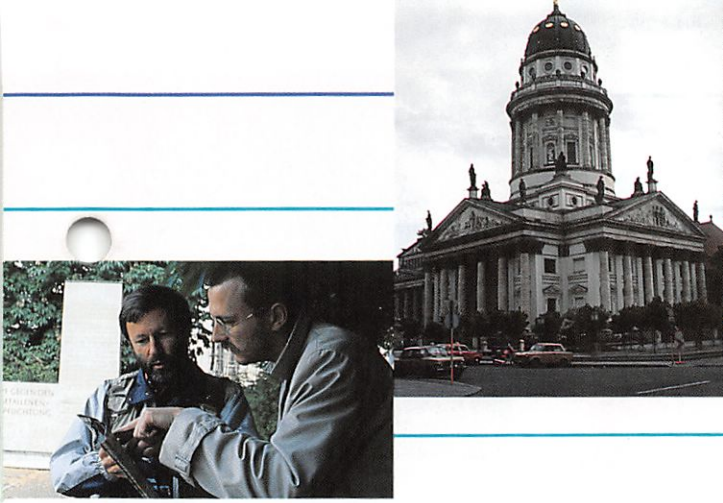


流石壮大で、新ドイツの表玄関として化粧直し中だった。左右は見渡す限り、まだあの壁が続いている。ベルリンだけでその距離は26キロ、全ドイツでは160キロに渡るという。東側の壁のほとんどは、日本のお城の壁さながらに白くて清潔だが、西側のそれはニューヨークの地下鉄のごとく落書き一杯で、東と西の相異を如実に物語っている。

この門や建物、橋の欄干に至る迄彫られている彫刻の数々を見ていると、激しく迫るのが伝わってくる。欄干に逆立ちしている魚の顔、向い合って歯を剥き出している馬の顔——。日本の金の鯨の顔を見つめたことはないが、どうもそれらの表情はもっと穏やかな気がして仕方無い。

歩き回っている中に、フンボルト大学の裏口に差ししかかったので、中に入ると丁度ランチ時で、校内の広場のベンチは学生で溢れていた。英語を理解する学生を見付け、地獄に仏と即席インタビューに突入。彼の名はTim Maierといい、返答につまると近くの学生に声をかけるので、結果的には数人の学生から





EAST GERMANY



生活事情や統一について話を聞くこととなった。面白いのは、首からカメラを下げ、先刻から地図を片手にウロウロしていた男性が、これ又地獄に仏と、式に参加したことだ。彼はカナダのジャーナリストで、首から下げたカメラは日本製のオリンパスだった。

統一に関するMaierさんその他の意見は一律に「(スピードが)早過ぎる」で、次々と発生すること必至の社会・経済問題に対する不安感で頭が一杯。又、どうにかしようと思っても「飲み込まれてしまう」立場にあることを知る人達の絶望感と無気力も漂うように感じられた。統一後も、東ドイツの産業は東ドイツがコントロールすべきと思うが、政治家の多くは抜けてるから、西のコントロールとなろう、と此処でも政治家に対する不信感強い。ドイツは特性に富んだ色々な地域から成っているが、統一後はそれらの地域特性(アイデンティティ)も失われることとなろう、と悲観的である。つまり、統一では、東が手に入れるものより失うものの方が大きいというのが一般の世論に見受けられた。

マイヤーさんは英語専攻で、卒業後は先生になる希望を持っている。先生の給料は、東の月1000マルクに対して、西は3500~4000マルクだから、西に行って「ボクもそれ位稼がようになりたい」といった。無理もないこと

だろうが、その声には、「新しい世界となった、ボクも4000マルク、いやそれ以上稼ごう！」といった精神の鼓舞は感じられなかった。

半世紀近く、時計の歯車式機構体制下で育ち生きてきた東ドイツの人達の前途は暗いとしかしいようがない。経済的にも大変だが、彼らにとっての最大の苦痛は、心理的なものとなろう。自由は素晴らしいが、その代償の厳しさに震え上がることとなるだろうし、キャピタリズムで大金持ちになった西ドイツが、全ての問題を解決してくれると信じていたら、その甘さは見事に裏切られることとなろう。

東西ドイツの関係は、終戦後の日本とアメリカの関係に彷彿させるものがある。基本的に違うのは、日本はアメリカを終始「外人(国)」とみてきたが、ドイツの場合は相互に「肉親」と意識している点である。自由経済下、人知れぬ努力の歳月を重ねて今日に至った西側にとれば、東側はまるで時代遅れて話も出来ぬ貧乏な親戚がいきなり家に上りこんできたようなもの、といってもいい過ぎではあるまい。

さらに又この親戚が、これ迄の機構体制下の習慣で、「して貰うのが当たり前」的態度をとれば、我慢する気だった西側もムツとなるのが人情というものであろう。

戦略通り西側の大衆が統一後の経済負担の莫大さに気付いて騒ぎ出す前ストレスに総選挙をすませ、新ドイツ最初の首相となったコール首相は、西の経済負担額の見通しを聞かれても、「分からない」で通し、大衆のイライラを募らすこととなっている。現在、既にこの経済負担額見通しは、一年前のその最低10倍にはなると見られており、東側の生活水準が西側のそれに追いつくのも、最初は「3年から5年」とされていたのが、今では10年から15年となっている。

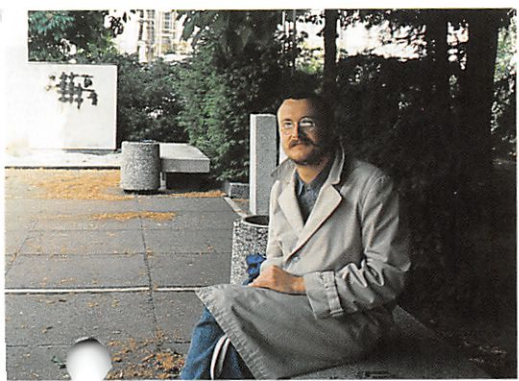
どうやって、このふくれ上がるばかりの経済負担をまかなうのか?常識では当然、国民への課税となるが、コール首相は、ブッシュ米大統領と同じく、「税金は上げない」の一点張り聞く。「上げない」といっておいて当選後、税金を「やむなく」上げたブッシュ同様、コールも上げざるを得ないだろう、というのが西側の世論で、政治家の二枚舌に対するイライラはどこも同じ現状である。

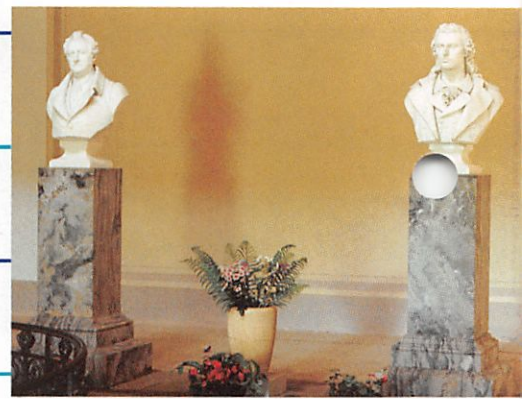
12月現在、東側の失業率はその中その労働力の50%になる可能性があると言われ、東の企業の75%は破産閉鎖となろうと伝えられる。又、東ドイツ人口の80%近くが、今では「^{キナンド}第二市民」との劣等感を抱き始めたと言えられる。

シャリテロ口腔科医長、ティアフェルダー博士

T博士が語ってくれた東ドイツ歯科事情と、シャリテの歴史と口腔科カリキュラムについては前号で述べたので、今回はヘルス・ケア一般を中心にお伝えしたい。

統一直前の東ドイツの医者数は約4万人で、その50%がアウトパシエント(外来)分野雇用。いわゆるファミリー・ドクター・システムである。数字は様々だが、T博士に依ると、人口1800人当り医師1人というのが現状らしい。だから、エマージェンシー・エイド・システムなるものが活用されているそう





だ。政府が設立した病院数は466で、ベッド数は16万6000。シャリテは外来患者の診断と治療となっている。85%の既婚女性が働きに出ているので、育児施設（0才から3才用）がととのっている。彼女らは、子供を朝出掛ける時に預け、夕方引き取って帰宅する。食事つき、乳母つきで全て無料。3才から6才の子供は幼稚園、7才から小学校となる。義務教育は10年。

T博士は中々の親日家で、取材中ひっきりなしに日本の地名や人の名が飛び出す。日本とは81年頃から交流が始まった模様で、東大、東海大、神奈川歯大の教授達の名刺や手紙のファイルを戸棚から持ち出して見せてくれる。彼らから贈られたプレゼント類も披露し、揚句の果ては、週末はユカタでくつろぐ話に迄発展。

こうなると取材は難しくなり、やっとシャリテで使用している歯科医療機器の殆どが西ドイツ製、ごく一部がチェコスロバキアその他の東ヨーロッパからきていることを聞き出したところで、話はT博士が81年に購入した日本車マツダのことにとんでしまうという具



合になった。

文化の話となり、日本人はドイツ文化を高く評価してくれると、或る日本女性が9ヶ月のベルリン滞在中に、「毎晩、オペラ、劇場、美術館に行った話をしてくれた。「エブリ・ナイトですよ！」と彼は楽しそうに笑う。「彼女は切符が安いから、といいますが、好きでなければとても『毎晩』は無理でしょう！」

T博士のスケジュールは朝7時から午後5時頃迄なので、シャリテには朝6時45分に来る。ランチはコーヒーだけ。「ノウ・タイム！（時間がない）」週2日、火曜と金曜は1日中治療。彼の患者の中には東ドイツ首相も入っている。若い頃は良くセリングを楽しんだが、今はもうとてもそんな時間はない。しかし「働くのが好き」なT博士は、そんな事はちっとも苦にしていない模様だ。自然が好きだから、週末は庭いじりをしたりしてリラックスする。ドライブも好きだ。

「ドライブ」で或る事を思い出した私は博士に質問した、「日帰りワイマンに行く事は可能でしょうか？」博士はビックリしたが、私がゲーテとシラーの家を訪れたい熱望を知ると、パッと立ち上がって地図で調べ、「日帰り出来ないことはありません」と、相当の強行軍を暗示する返事。その朝私はホテルで、英語が出来るドライバーのタクシーを雇うと1日8時間で400ドルと調べ済みだった。しかし、どうもタクシーではおぼつかないという危惧の念を抱いていた。博士は親切にあちこち電話をかけてくれたが、急な話なので誰も都合がつかない。

ホテル迄送ってあげようという博士とオフィスを出て歩いていたら、途中で女性連れの青年と出くわし、博士との立話しとなった。2人は夫婦で、シャリテで働く歯科医だったが、博士の説得で翌日私のワイマン案内を引き受けてくれることとなった。

ゲーテの家と墓を訪ねて

早朝2人は、8才の子供と共にヴァッポクで私を迎えにきた。チェコスロバキアとババリア国境に近いワイマン市迄307キロなので、時速120キロでぶっ飛ばす。その車中での風景説明、撮影、そして取材となった。

クンツェル夫妻のご主人の名はアレキサンダー、奥さんの方はペトラで、彼女は既に博士号を持っており、シャリテで普通の患者の他にハンディキャップを持つ患者の治療に当たっている。歯科医になったのは、彼女のお母さんが歯科アシスタントだったから。ご主人の方は、画家かデザイナー志望だったが、親から歯科医になることを強制され、モスクワ大学に5年留学。だからドイツ語とロシア語しか解さない。専攻は口腔外科で、目下インプラントのテーマで学位論文を執筆中。

奥さんの英語も殆ど文献を読む為のものらしく、会話となると普段使わないので、「横に見えるのは、えー、えー」と言っている中に、その建物や風景は後方に消えてしまうことが多かった。夜ホテルに着いて別れる時、アレキサンダーさんが、「ターザン（彼）がジェーン（私）に会った気分の1日だった」というので大笑いしたが、全くそれに近い印象深い1日となった。今振り返っても、よくまあ、あれだけの短い時間で何と多くの貴重な史跡に触れ得たことか、と驚く次第である。



EAST GERMANY



ゲーテはフランクフルト生まれだが、田園風景の美しいワイマンで1782年から1832年に他界する迄の50年を過ごしている。1709年に建てられた彼の家は全くの芸術の世界、とのひと言に尽きよう。数多い部屋のすべてに彫刻が見られ、壁は絵画でピッシリ。各部屋の、トープ迄それぞれデザインの凝ったものだ。ゲーテの家の前の広場と通りを越した所にあるシラーの家は、もっと小じんまりしていて、屋内の世界の重圧感がゲーテ程ではない。46才という若さで亡くなったからだろうか？

この両詩人の親友だったキングのカール・オーガストは、2人の功績を称え、王家の地下納骨所に両者を祀っている。この地下納骨所の1階入口正面には、ゲーテとシラーの胸像が飾られており、地下の納骨所にはその正面にゲーテとシラーの柩が設置されている。その両側に数列となって設置されているのは、代々の王、后、王子、王女の柩であった。それを見た時、私は偉大な芸術家の魂に頭を下

げる王の姿に触れる思いがした。

この地下納骨所のある墓地には、ゲーテの家族やゲーテの若い頃の恋人だったといわれる7才年上の女性シャーロット・スタインも眠っている。又、ドイツの王子と結婚したロシア王女マリア・パブロフナの冥福を祈ってか、ロシア正教会も墓地境内に見られた。この王女が他界した時、彼女の母国ロシアから土を運んで墓としたと伝えられる。

ワイマンにある王の別荘は、当時王の騎士達の宿所だった建物で半円形に囲まれており、それらの建物は今や子供達の音楽学校となっている。ここを卒業した生徒達はフランツ・リスト音楽学校に進学するそうだ。フランツ・リスト音楽学校の傍を通ると、中から盛んにピアノの音が流れてくる。何だか私はタイムカプセルで、200年程前に逆のぼった気分になった。

前の広場でアイン・タッセ・カフェがいい香りをたてているので、みなで買って食べたがその美味しいこと。どう考えても手作りの味だ。以後3食ともアイン・タッセ・カフェで過ごし、ベトラさんに心配される、「東ドイツの食生活がこんなものばかりとは思わない

で下さいね」と。

初めの手定では、ゲーテの「ファースト」とゆかりの深いレストランで夕食をとることとなっていたが、もうひとつ是非見ておきたい所があったので、由緒深いレストランは又の事としたわけである。私の耳には、T博士がつけ加えた言葉、「ワイマンの近くに、コンセントレーション・キャンプがある」が残っていた。2人はいささか渋ったが、私をそこにドライブしてくれた。人里離れた小高い丘というか山の頂上に広がる元収容所は、ひっそりと、私達以外の人影は無かった。アウシュビッツ程ではないとしても、それと似通った収容所であったことは確かだ。25万人の政治犯その他が、此方で逃亡する体力と気力を奪う為、餓死しないだけという食餌を与えられて、岩石粉砕作業に従事したといわれる。拷問所、銃殺所、焼却所もあり、人影ひとつないことが、かえって不気味さの濃度を増していた。

少し離れた地点に、犠牲者たちの冥福を祈る大きな追悼記念碑が建っていたが、此処にも人影は無かった。この収容所は、終戦後も1960年まで運営されていたという。この収容所のことを東ドイツの人達が知ったのはつい数年前の事だ。更に又最近、同じような収容所が別の地域に、それも数ヶ所に存在するという噂が立っているという。

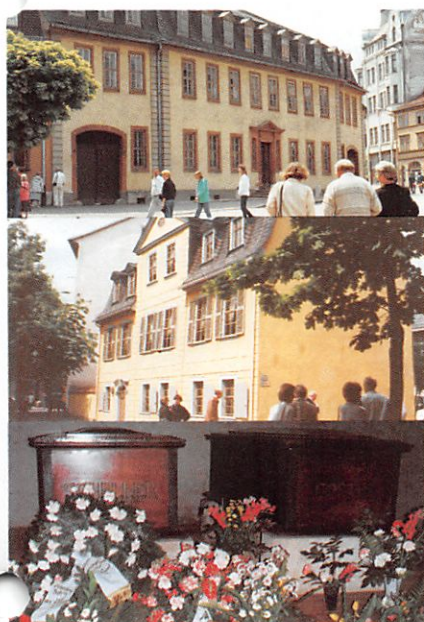
「そんな事を書いてもいいのですか？」と私が聞いたら、ベトラさんは、「今の東ドイツでは、そういう話が出来るようになった、ということ伝えて欲しいのです」といった。



筆者紹介

岩本蘭子

ポストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長



DENTAL SPACE

医師も患者も総て平等の考え方を基本に、
室内はリラックス出来る
オープンスタイルを心掛けました。



むらばやし歯科医院

三重県多気郡大台町栃原田上坂1683-5

院長 沼田 明美 (旧姓・村林)

沼田 光憲 (漢方医)



設計・施工：松本工務店

開業：平成2年6月

スペース：115.8㎡ (約35坪)

ユニット：スマイリー〈ファインL型〉1台

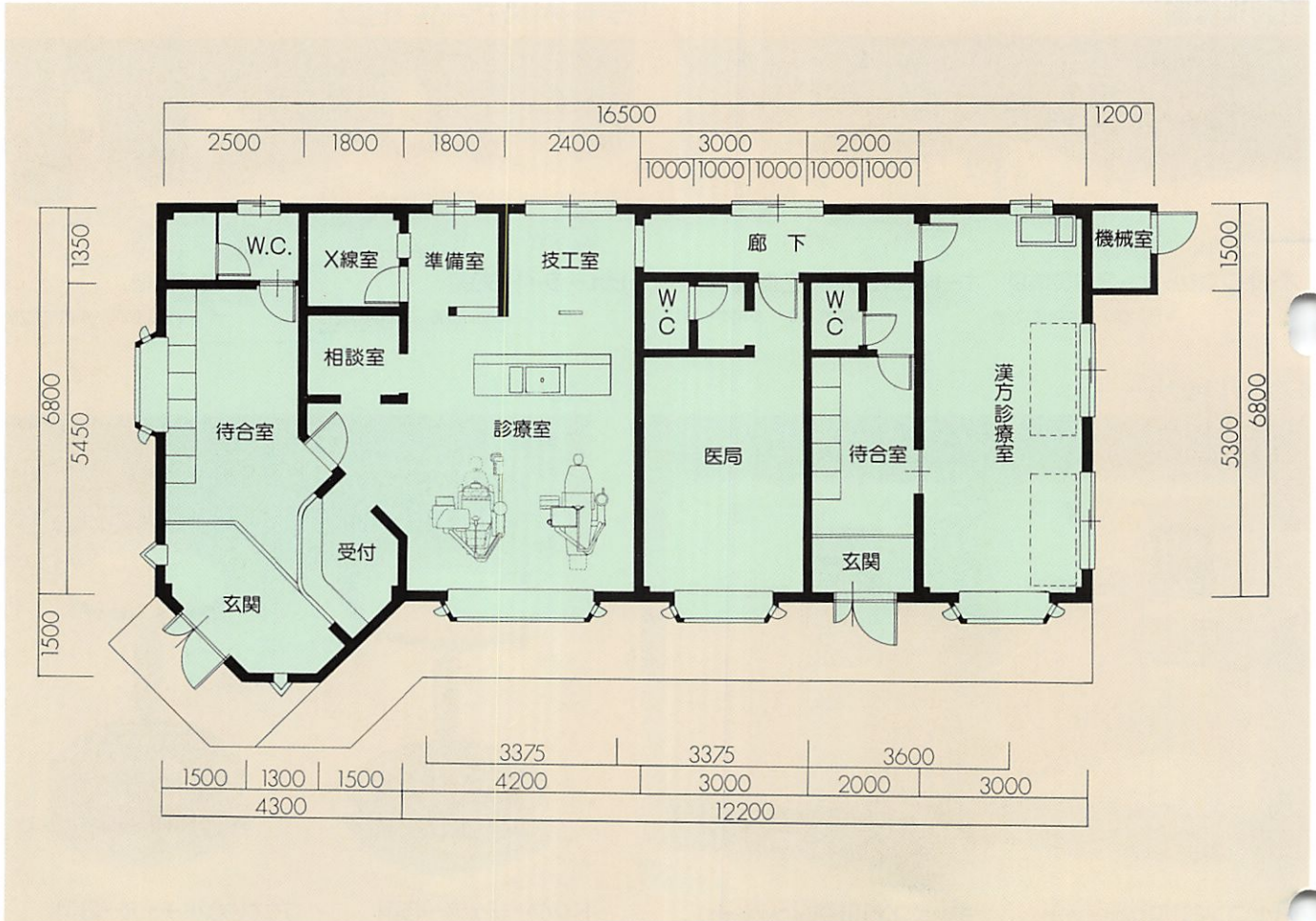
スマイリーTタイプ1台

診療時間：9:00～13:00、14:00～18:00

日曜 9:00～13:00、14:00～17:00

(休日) 木曜日、祝日

スタッフ構成：歯科医師1名、衛生士1名、
受付1名、事務1名



近鉄・松阪駅より市街地を抜け国道42号線
およそ30分。「むらばやし歯科医院」はこの
国道に沿った、周囲を山々に囲まれた静かな
山合の町にある。外観は淡いクリームの外壁
にオレンジのスペイン瓦、バックの濃い緑に
よく似合っている。建物は両側に玄関を設け、
片方を女医である沼田明美先生の歯科診療
室、もう一方はご主人沼田光憲氏が経営され
る、はり治療院「陽明」である。

なお、今回は歯科医院のご紹介と共に、近
年急速に東洋医学が歯科治療に導入されて
いることから、ご主人が漢方医として永年ご活
躍されているという願ってもない条件ゆえ、
共にご登場頂き、その実状も同時にお話し頂
いた。

院長は大阪歯科大学卒業後、名古屋大学附

属病院口腔外科に在籍。昭和41年東京・中
央線豊田駅前で最初のご開業に踏み切られ
た。その後となりの日野市に土地を購入、自
宅兼診療所を建て移転。3人のお子様を育て
つつ、20年の歳月を過ごされたという女性歯
科医の先駆者であるが、写真でもおわかりの
ように、表情はいたって和やか、やさしい女
医さん、の印象である。

玄関入口には、ご主人が創られたという欧
米で時々みかけるユニークな看板がかかっ
ている。待合室はブルーグレイの床に、薄茶の
椅子がおよそ7脚。カウンターもオープンに
なっていて広々として気持ちいい。壁には自
筆の油絵と「歯科のハリ麻酔」の説明、「歯科
と漢方、すぐできる歯痛止」と題したツボの
生体図が貼られている。続く診療室も、余分
な物は一切置かれていない開放的なイメ
ージ。室の一角にはアール状の入口を設けたカ
ウンセリングコーナー、机には血圧計が置
かれている。お話しによると、予診の患者さ
んはここでまずご主人光憲氏(事務長兼務)か
ら、血圧、脈診を計ってもらい、全身の体調

を調べてから、治療に移れるとのこと。従
来の歯科医院にはないシステムであると同
時に、患者さんも恵まれている。

なお、この脈診は身体全体のひずみを整え
ると云う東洋医学の根幹をなすべきものであ
り、この診断を完全にできる漢方医は日本
でも数少ない、といわれる。

光憲氏はこの少ない針灸師のお1人で、ま
た著書を初め漢方医の為の講演、論文なども
発表されているその道の大家。女医である奥
様にとっても頼もしい味方であろう。

**Q：20年余の長い都会生活から、故郷に帰ら
れた動機は？**

院長：私は1人っ子で、90才になる年寄りか
ら此処に住んでおりますので、前から気にな
って…。子供達も無事大きくなりましたので、
思い切って近くに来ようと、主人とも相談し、
昨年こちらに戻って来ました。生活のペース
は違いますが、空気は美味しいし、なつかしい
方言も聞けて、田舎はいいですね(笑)。



Q：出産、子育て、振り返っての人生は？

院長：とにかく無我夢中で歩いて来ました。何より身体が丈夫で健康に恵まれたことに感謝しております。でも、主人の協力がなかったら、とても無理だったと、今つくづく思いますね。私の親族はほとんど医者ばかりですが、私自身は歯科医で良かったと思っています。医者でしたらたぶんやって来られなかったでしょうね。

Q：ご主人の沼田先生にお聞きしたいのですが、歯科における東洋医学の効用は？

沼田：予診は私が診ておりますが、脈を診ますと、歯の悪い箇所がわかるんですよ。その後、歯科にバトンタッチをするんですが、内科的な急を要する病気を見つけ出し、病院に送ったケースもずいぶんあり、感謝されますね。

院長：調べたわけではありませんので、ハッキリとはわかりませんが、針麻酔を採り入れた歯科治療では、日本では1～2番ではないかしら。歯が痛いと言って来られる患者さん、調べても歯に異常がなく、



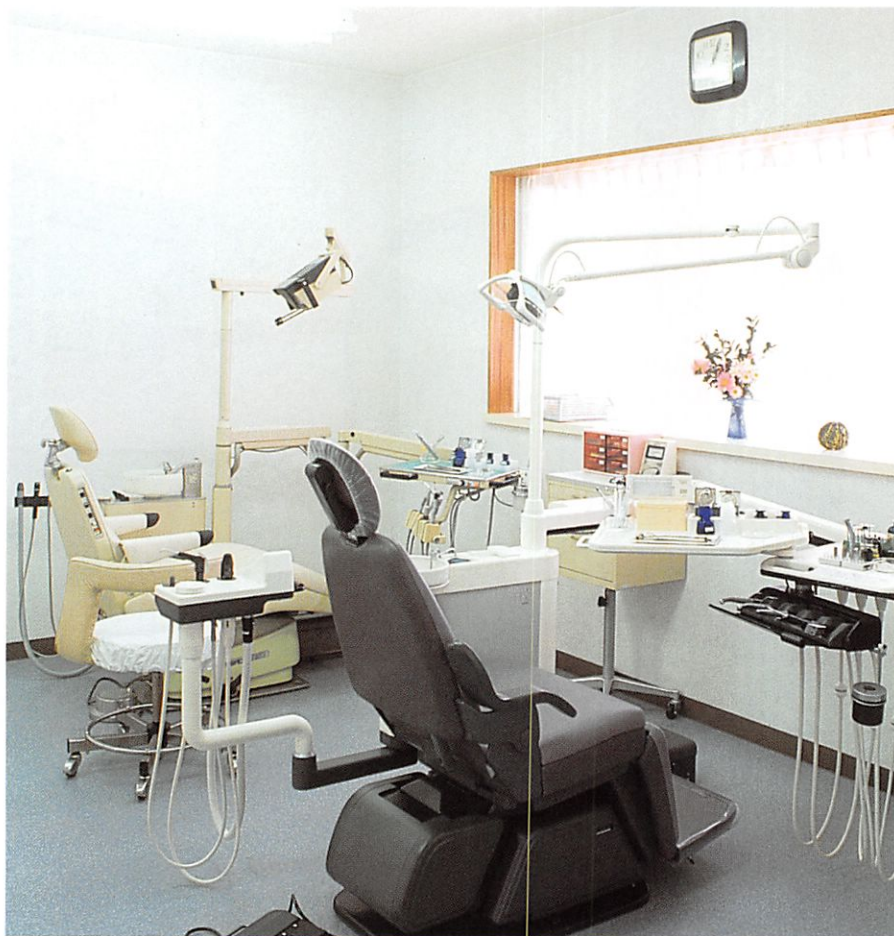
実は狭心症の前ぶれであった、という方も何例かあります。

Q：ではこちらでは、ほとんど針麻酔による治療を…？

沼田：薬物との併用です。薬害がなく麻酔効用時間も48時間と患者さんには非常に良いのですが、唯一の欠点は通電に45分以上かかる、ということです。それと顎関節症など、症例にもよりますが1回の針で治る、という例もありますし、患者さんが口込みで知り来院されるケースが多いですね。

Q：沼田先生からご覧になって、歯科医師というご職業、いかがですか？

沼田：漢方の他に、日本病院管理学会会員もやっておりますが、良否は別にして、歯



科医師の方は、経営は全く無頓着という方と、その方面ばかりに詳しく熱心、という方の両極端に分かれているような気がしますね。時代の流れ、風潮、世代、色々ありますが、バランス感覚、これからの時代はそうした感覚も大切なのではないでしょうか。

Q：ありがとうございます。本題に戻らせて頂きます(笑)。診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：東京では、診療所と住宅兼用で、時には育児、炊事をやりながらの治療でしたが、ここではそれもなくなりましたので…。やはり歯科医院は、痛い苦しいから来られる方が多いですから、リラックスできて、総てオープン、何んでも気軽に話せる雰囲気大切ですね。私達の昔からの基本精神ですが、診る側と診られる側に決して上下の差があってははいけない。とかく医師は診てやっている、という意識に立ちがちですが、これは職業の一つであって、立場が違えば向うが先生

である場合も多いのですから、人みな平等、これを基本に、明るく広々とした感じにと留意しました。

Q：オサダのスマイリー〈フライン〉いかがですか？

院長：機種は共々考えたのですが、メーカーは最初から「機械はオサダ」という考えでしたから。オサダの中からスマイリー〈フライン〉を選んだのは、コンピューター搭載の最新のユニットだということです。初めは多少戸惑いましたが、ちょっと慣れ、ばやはり使いやすいですね。初期の頃のスマイリーもあり、東京の頃からもう17~18年たちますが、機械の性能もデザインもいいし、本当に長持ちしますね。

Q：後に続く、女医さんに一言。

院長：診療にたずさわるもの一人として、避けて通れないことも多いのですが、やはり何んにでも前向きな姿勢で挑戦して行く気持が大切だと思います。今後も皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。皆さん健康に気をつけて頑張って下さい。

歯科医院の新築・改築・増築から、 医院経営まで、 すべてわかる。



歯科医院 定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
——オサダからのアドバイス他
- 〈別冊付録〉
設備機械、器具、材料リスト



歯科医院 定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書／開業収支・資金計画書
 - 歯科医の節税戦略 (青色申告)
 - 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却・MS法人・医療法人
 - 財テク・税テク 他

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業株 / 顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)



トピックス

障害児治療が、私にこんなに多くの
幸せと喜びを与えてくれます。

菊池小児歯科医院

東京都町田市木曽町426



院長 菊池純子

町田駅から町田街道を車で約7～8分。銀色と淡いピンクが混じった3階建のビル。入口は階段と身障者用のスロープ状の2つ設けてある。一軒を2つに分けて、一方はご主人が経営される一般歯科、もう一方がご紹介の純子先生が経営される小児歯科医院である。

待合室は椅子の他にベットが置かれ、各種のぬいぐるみ、毛布が用意されている。院長は、お歳は50代に入られた(失礼)が、大学や各種養護学校、障害児訓練教室等で自発的に身体障害児や母親教室の指導にあたってこられたため、開業は昨年7月と遅い。「若い先生方も、勇気を持って無限な可能性を持つこうした子供達と家族の為に技術を活かして頂きたい。それを解って頂きたくて、このズーム・アップ誌に出る決心をしました」と話される。

日本歯科大学の第50回生。牧師であり、精

神科医でもあったお父様に育てられ、高校時代から、そうした身体、精神に弱いところを持つ人のために役立ちたいと思っていただけに、心身障害児治療にける情熱は、聞く側の胸に迫ってくる。

では、院長はどのようにして、こうした子供達を治療されているのか。今後、こうした方面も治療にぜひ組み込みたいと志されている先生方に、お知らせすると…。

「とにかくここに来られる子供達は、いくつもの医院で断われている、或いは手足を押さえ付けられ痛目会った子、全身麻酔を3回も等、とにかく治療で怖く痛目会った子が多いのです。ですから心にもすごい恐怖心もっているのです。」

「私はまず最初、待合室で自由に遊ばせます。電車ごっこなどをやりながら…慣れたナ、と思ったら、次の駅はこちら、と診療室に導きます。最初はハブラシのみで遊ばせ、次はお口を洗いましょうと…。——機器類の恐怖心を取り除く遊びです。——水鉄砲だよー、これは扇風機だよー、と云って、マルチシリンジの水や風を口の中に吹きつけてやります。次は、その水をお掃除しましょう、とエアバキュームを入れます。この先生は大丈夫だナ、と思わせたら次はミラーとピンセット。初めは、何回までパチパチが出来るかな、30回やろうね、と歯だけ挟んで、本人にも数えさせながら歯をさわってゆきます。30回出来たら、大きな声で誉めてやります。一番いや

がるのは単針ですね。良く知っています。ですからその先に綿を丸めて付け、口に入れて、歯をさわりながら、口中で取ります。——いよいよタービン、このタービン音の恐怖を除くため、最初はタービンの先を取りはずし、音のみで、歯のアチコチを触ります。そしてまたエアバキューム…。機器に慣れてきたら、切削部を取り付け、一番始めは最も痛くない軽度のムシ歯をちょこっと治します。ここまで出来たら、スタッフ一同バンザイと大きな声で誉めてやります。もちろんこれは手順をお話したのであって、3回、5回、と分けてやる子も多いですよ。その子の状態に合わせてケースバイケースですから…」とユニットの装備一つ一つを手にとって説明下さる。「母親は絶対に診療室には入れませんが、待合室から、今迄の治療先での苦勞を思い起こすのでしょうね、タービンが回る音を聞き、驚きと喜びで、涙ぐんでみえています。時には父親



も連れて来て…。信じられない、という顔。そして喜びの涙。帰りには私は必ず云います。今日のことを、食卓で、団らんで、家族皆さんで誉めてやって下さい、と。当方もこれは仕事だと思ながらも、熱いものが胸にこみあげ、メモをとる手も遅れがち…。「実は私も今年24才になる心身障害児の母親なのです。先程云いましたように、牧師の家に生まれましたので、小さな頃より弱者を助ける仕事を、と思っていたのですが、まさか自分もこうした子の親になるとは思ってもいませんでした。生まれた子を見て、この子の立場、この子の精神、心を大切に共生きようと決心したことが、更に深くこの道に進ませたのでしょね。1人1人治療している時も、私は今、この子と共にこの子の痛みを知って、共に治療を受けてみよう。そんな心になるんですよ」。壁には各種のカード。戸棚には小さなぬいぐるみ。引き出しにはボールペンやプラスチックの丸いボールなどが一杯入っている。「これらは、養護学校のバザーで売れ残ったのを貰って来るんですよ。そして治療が終わった子には、ごほうびとして年齢に応じてあげます。"みんなで誉めてあげることでの励み、自分にも出来たという喜び、そして何かたのしいものをえる"。こうしたことが、次第に本人に忍耐をつけてゆくんです。」「過日、19才の子なんですが、初めはユニットに座るのに50分かかったのですが、今では入れ歯を入れて、きれいに総て治療を終わりました。その1回1回の笑顔を写真に撮り、お母様に渡すと同時



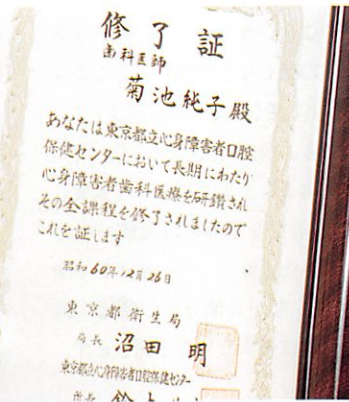
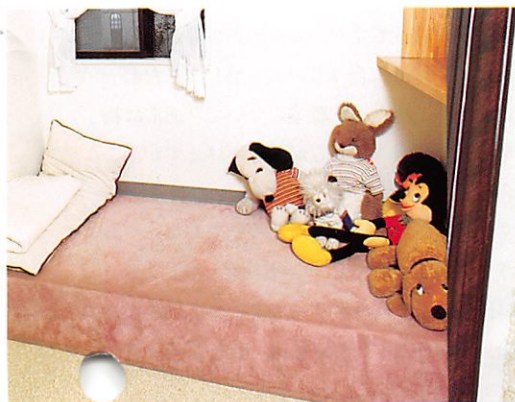
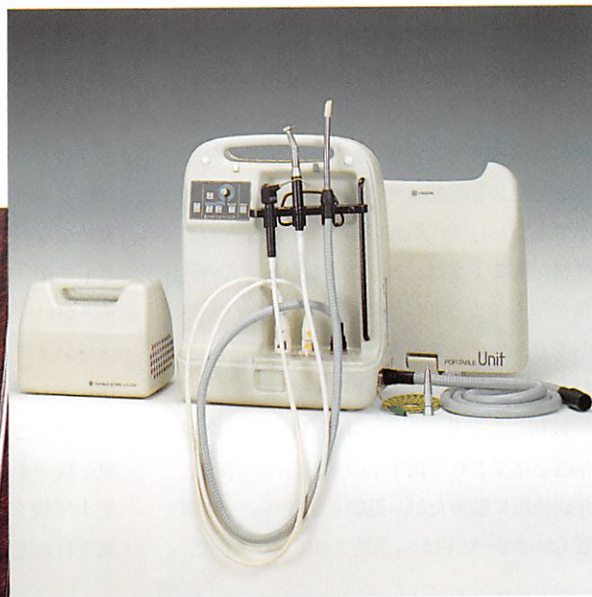
に、この壁にも貼っておいたんです。先日電話がありまして、歯の治療後は、性格も変わり、何事にも忍耐強くなった、とのお話でした。こうした子は、キチツとした訓練によってパターンを作れば、健常児よりも忍耐強くやり遂げます。脳は侵されていて、感情は侵されておられません。その感性をうまく活かしながら、治療をしてあげれば、絶対に出来ます。そして、親にも、歯医者はずラク痛いと、決して云わないで下さい」と。ご主人の従兄弟にあたる日歯大の菊池教授の研究室で卒後数年間を過ごす。それが縁で結婚へと。「経営とかお金のことを考えれば、とても出来ないでしょうし、そうした方から云わせれば、それは趣味だ、と云われるかも知れませんが…。このビルの借金を払って、丁度終わり。そうした意味で、主人には非常に感謝しておりますし、また私の治療を共に全力で尽くしてくれますスタッフの方々には、頭が下がる思いです」。

此の度、オサダの〈ポータブルユニット〉をお買い上げ戴きましたが、それは…? 「これを買いましたのは、午前中子供達はそれぞれ学校や養護学校に行きますので、空いているんです。ですから、寝たきり老人や医院に連れて来られない障害者の家庭を回ろうと思ひまして…。まだ買ったばかりで、私もスタッフもトレーニング中。口込みで知った方々数人から問合せが来ているんですが、1月から始めようかと思っております。」「子供達は、健常児はむろんですが、たとえ障害を持った子ども、一杯の可能性を持っているんです。これを引き出してやるのが私達の役目なのではないでしょうか。私だってユニットに座らされて痛いことをされるなんて嫌です。知恵遅れの子はもっと怖だろうし、わからないのも当たり前です。若い先生方が医療を通して、こうした弱者にチラッと目を向けていただけたら、もっと日本の医療も変わっていくと思います。私にこんなに多くの幸せを与えてくれる歯科医師という仕事。本当に選んで良かったと思ひます」。



取材後、先生の真意や情熱がこの拙筆と少ない誌面で読者の先生方に伝わるかどうか心配になったが…。ご感想をお聞かせ下されれば幸いです。

この度、オサダの〈ポータブルユニット〉をお買い上げ戴きましたが、それは…? 「これを買いましたのは、午前中子供達はそれぞれ学校や養護学校に行きますので、空いているんです。ですから、寝たきり老人や医院に連れて来られない障害者の家庭を回ろうと思ひまして…。まだ買ったばかりで、私もスタッフもトレーニング中。口込みで知った方々数人から問合せが来ているんですが、1月から始めようかと思っております。」「子供達は、健常児はむろんですが、たとえ障害を持った子ども、一杯の可能性を持っているんです。これを引き出してやるのが私達の役目なのではないでしょうか。私だってユニットに座らされて痛いことをされるなんて嫌です。知恵遅れの子はもっと怖だろうし、わからないのも当たり前です。若い先生方が医療を通して、こうした弱者にチラッと目を向けていただけたら、もっと日本の医療も変わっていくと思います。私にこんなに多くの幸せを与えてくれる歯科医師という仕事。本当に選んで良かったと思ひます」。





葉山歯科医院

名古屋市緑区鳴海町字相原町26

院長 葉山侃三
菅 政英

木村まつ代さん

浜千代珠美さん

藤川 景子さん

稲森百合子さん

高田 しづさん(主任)

名古屋市街より車でおよそ30分。鳴海町は旧東海道の宿場町で、昔はかなりの賑わいをみせたと云われるが、いまでも派手さはないが軒の低い瓦屋根が続き、往時をしのばせる、しっとりとした町並が続いている。ご紹介の葉山歯科医院は、この旧東海道を10m程入った道路沿いにある。昭和24年にご開業といわれるから、当年で既に42年余り。院長は県歯科医師会副会長や理事を歴任されているというこの道の大先輩。

多忙な日々を過ごされた院長に変わって、医院を取りしきられたのが、当院に入って30年の義弟にあたる菅先生。2人3脚でやって来ました、と院長は笑っておっしゃるが、実子でも難しい現代風潮の中で…。お2人のご性格が解るようだ。またこうしたお2人の性格を映してか医院全体の雰囲気もいたって明るく、スタッフの方々も遠方から通勤、また長く勤めておられる方が多い。

最初にご登場頂いたのは名古屋デンタル学院を卒業された衛生士の木村さん。卒後2年間他院に勤めたが、退職し当院へ。一時間近くかけて一宮から通勤されているようだ。

退職された動機を「前の医院は患者数が多く忙しいので、全く衛生士本来の仕事をさせてもらえず…。せっかく学校で勉強して来ましたので、予防や指導に時間をかけてやりたかったのです。ここでは、そうした時間もとれますし、最初に指導した患者さんは、最後まで私の担当として責任をもたせてくれますから、悪い歯が良くなってゆく過程もわかりますし、衛生士としてやりがいがあります」と、当院のシステムと自身の転職動機を話してくれた。また「学校を卒業したばかりは燃えていますからね(笑)。その出端をくじかれるとやはり…」と一般的な退職理由を…。結婚後もこの仕事を。「今は全く結婚は考えておりませんが、私は一度に2つのことが出来ないし、それほど器用ではありませんから、多分専門になると思います。でもその時になってみたいとわかりませんが」。

次の方は愛知県立歯科衛生士専門学校を卒業された浜千代さん。昨年春入局されたばかりのフレッシュギヤル。ご実家は三重県二見ヶ浦ということだが…。「姉夫婦のところに同居させてもらっているんですが、やっぱり都会の方が刺激があったのしいんです。もう少し、こちらでゆっくりしようかな…と(笑)」。衛生士の仕事については「私はここが初めてなので、こういうものかな、という感じですが、友達の話などを聞くと、ここはやりがいを引き出してくれる医院で恵まれた、と思います。でも、学校時代に感じていた衛生士としての仕事より、実際はずっと大変。特に患者さんと接する場合の言葉使いなど気を使いますね」と正直だ。——せっかく衛生士学校を卒業しながら他分野の職場に就職される方が最近では多くなったと聞きます。

何故と思われますか? 「やはり最初の経験が大切ですね。学生時代の実習医院の印象が悪いと、私はこの職業には向かない、とやめてしまう人が多いですね。良い医院もありますし…。最初の経験、これが大切ですね」。言使いもハキハキと。経験1年とは思えない程しっかりとした返答。おそらく患者さんにも好印象を与えていることだろう。

次は助手を勤める藤川さん。おとなしくやさしそうな印象だが、勤労学生として短大の幼児教育科を卒業されたといわれる努力家だ。「日清紡に勤めながら短大に通って保母さんになろうと思ったのですが、就職が難しく、当院に来ました。前の職業は単純作業が多かったんですが、この仕事は毎日いろいろな人と接する職業なので、大変ですが自分に合っていると思います」。当院で2年半のキャリア。この医院の魅力について「ここは私の知らないことを色々と教えてくれますので、将来この職業を続ける場合はぜひ分役つと思います。いずれは田舎(徳島出身)に帰ると思いますが、ここで経験がその時は活かせるでしょうね」。印象通り芯はしっかりしているアシスタントさんだ。

受付を担当される稲森さん。受付という職業柄か、お話しも無駄がない。「知らなくて偶然入った職業ですが、カルテ書き等が面白かったし、自分に合っていると感じましたね」また歯科医院という職業について「通常は物を売った場合、こちらが頭を下げますが、この職業は相手(患者)も感謝してくれる訳ですから、単なる接客業と違ってやりがいがありますね」。受付という仕事に対しては「受付は医院の顔。痛みを持って来る患者に最初に会い、終わったら診療費を頂く時また会う訳で



すから、最初と最後の重要な時に2回会うのです。そういった意味では大切な仕事だと思っています。良い患者さん、余り感心しない患者さんはどんな方ですか? 「ここは完全予約制ですので、良い患者は時間をキチッと守って下さる方で、良くない場合はその反対の方です。医師もスタッフもその時間を空けているわけですから、困りますね」と。さすが医療事務を8年(当院では2年)続けてこられた方だけに、ソツがない。

高田さんはこの道24年。当院では19年を迎えられている、それこそ葉山歯科医院の顔である。「私はアシスタントというか、もう、何んでも屋、といった方がいいかしら(笑)。通勤は45分ぐらいかかりますが、やはりこの仕事と医院の雰囲気が好きなのでしょうねー。50代(失礼)に入られたと云われるが、毎日人と接し、仕事かたのしいと云われるだけあって、活々とした表情はお若い。——当院の魅力と院内で心掛けている点は? 「やはり全体の雰囲気がいい、ということですね。院長の気分が良ければ、私達も良くなるし、逆に私達が悪ければドクターも悪くなります。全体が良ければ、患者さんもきっと良いと感じられると思います。そうしたことから、やはりイヤな思だけは皆さんにしてもらいたくない、と心掛けていますが、ちょっと消極的かしら(笑)」。近年歯科医院が増えてきたことについては「患者さんが多いことは院長先生にとっては経営という面からうれしいと思いますが、逆に、昔は患者さんは痛くても我慢し、2ヶ月も待たされたんです。つらいですよ。最近はそんなこともなく、患者さんにとっては良いことではないでしょうか」さすがベテラン、よどみなく答えてくれた。



院長 葉山侃三



菅 政英

〈院長から一言〉

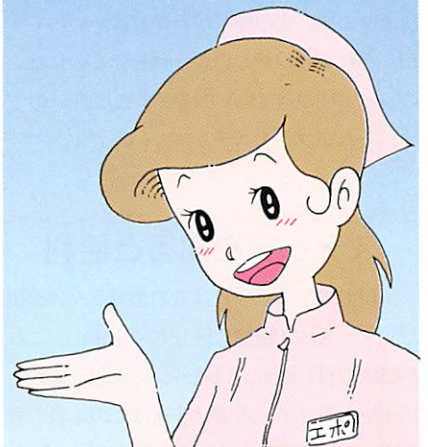
当院は特別これといった秘訣はないんです。遠方から来ている人が多いことから、昼食は全員で色々話し合いながら手料理を食べていることと、あとは新年・忘年会、旅行会をやること位ですね。和気アアイの雰囲気は、患者さんも肌でわかりますから、最も気をつけます。技工士30年、助手も20年近くの大ベテランがおりますから、特別な教育はしておりませんが、全体をよくまとめてくれます。お陰様で他県や他の町に移って行っても、当院に通ってくれる患者さんが多く、有難いですよ。*親切・長持ち・差額は一切しない*これが私の診療モットーですから…。患者さんの喜ぶ顔、それを見たら永年治療をやった来たのかな(笑)。

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター

〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(3492)7651(代)

具えているユニット、と判断しました。 今後10年間の時代の要求を総て

河口歯科医院 院長 河口 忠司
茨城県猿島郡総和町関戸三三五(日本大学歯学部卒)38才

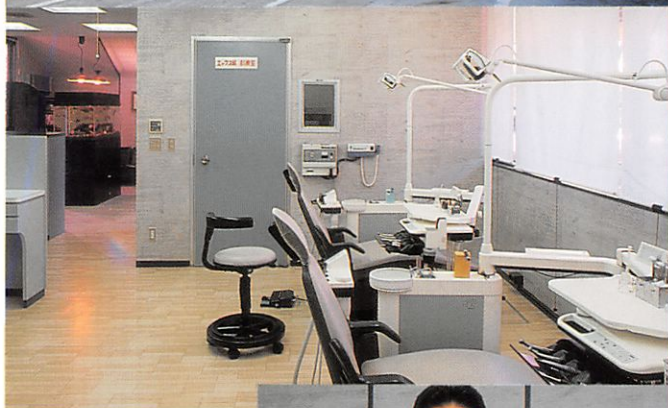
面改装し、20年過ぎたら建物も、と考えていたんです。私自身が飽きるということもありますし、どんな職業でも、時代の変化に合わせイメージや中身を変えているんです。医院も決して例外ではない

東北本線古河駅から車でおよそ10分。木々に囲まれた住宅街の中にひとさわモダンな建物。

待合室の中心部には色とりどりの熱帯魚が。受付から続く診療室も天井を高くとった開放的なオープンスタイル。色調も総てグレイ・ブラック

を中心としたモノトーンでまとめている。開業は昭和54年。

「私は開業から10年過ぎたら、内部を全



スマイリーファイン
SMILY Fine



S型

(製造承認番号63日第0810号)

という考え方で、今年5月改装をしました。建物、内部共、この辺りではモダンに映るでしょうが、患者層も進出企業の成人層が主体。お陰様で評判もいいですよ。「私は若い方(歯科医)に云うのですが、たとえ地方でも最新の医療をすることに遠慮するな。交通、情報が発達した現代では必ず患者さんも理解出来る、と」。開業の傍ら、日本医科大学第二解剖学教室に既に8年通われているという努力家でもある。

「ユニットを選ぶ基準は…、他社は気に入る機種があっても、それから企業姿勢その他を調べる必要がありますが、オサダは、お世辞ではなく、企業姿勢は抜群ですから、その中からアレコレ自分に合った商品を選べます。後々の安心感がまるで逆、違いますからね。スマイリー(ファイン)を選んだのは、このユニットは今後10年間の時代の要求を総て具えている、と判断したからです。インテリアもユニット色に合わせて仕上げました」。

*資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本顧客センター宛にハガキでご請求下さい。